

和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2018

(平成 30 年度)



はじめに

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、2006年4月、岸和田市立浪切ホールに岸和田サテライトを開設しました。岸和田サテライトでは、和歌山大学の学部開放授業（教養科目）・大学院経済学研究科授業および専門研究・公開講座等を開講・実施し、地域のみなさんに高等教育・生涯学習の機会を提供しているほか、地域課題の解決に向けた各種の研究や連携事業を展開しています。

2018年度は、本学と岸和田市との連携の指針となる「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン 2014-2023、同アクションプラン」に沿って、戦略的・計画的な事業運営に取り組みました。このビジョンおよびプランは、本学と岸和田市との連携の目的である4つの「目指す姿」を軸に、それらを実現するための各種事業および組織運営の充実を図るために策定したものです。

岸和田サテライトの各種事業は、自主事業としての活動と、本学の各部局が岸和田市を中心とした大阪府南部（泉州地域）で事業を実施する際の調整・協力等の諸活動からなっています。

本事業報告においては、前者の事業活動に重点をおきつつ、地域における本学の教育研究および連携活動等の概要を、上記の4つの「目指す姿」に沿って報告しています。

今後ともサテライト事業にご支援・ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

2019年4月

和歌山大学岸和田サテライト代表 藤田 和史（経済学部准教授）

事業体系表

(和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類)

目指す姿		事業分類					
I	高等教育機能を 発揮している	1	高等教育事業	1-1	大学授業の開講	1-1-1	高度職業人養成型授業の開講
						1-1-2	地域課題探求型授業の開講
						1-1-3	文化・教養型授業の開講
				1-2	学習環境の充実	1-2-1	学習環境の充実
II	市民の生涯学習活 動をサポートして いる	2	生涯学習機会の 提供	2-1	わだいなぎサロ ンの充実	2-1-1	継続実施と新たな展開
						2-1-2	戦略的な周知活動
				2-2	セミナー等の 開催	2-2-1	セミナー等の開催
						3	地域研究事業
III	地域課題の発見と 解決・大学の知的 資源と住民の交流 をサポートしてい る	4	各種連携	4-1	各種連携	4-1-1	学校教育分野の連携促進
						4-1-2	生涯学習分野・まちづくり分野の 連携促進
						4-1-3	連携ひろば「ワダイ×キシワダ」の運営
				4-2	岸和田サテライ ト友の会への 支援	4-2-1	友の会の活動促進、地域との連携
						5	組織体制・財政
5-1-2	大学の連携体制の強化						
5-1-3	市の連携体制の強化						
5-2	事務局機能の 充実	5-2-1	事務局機能の充実				
5-3	財政運営	5-3-1	持続可能な財政運営の検討				
IV	持続可能な連携組 織となっている	6	事業立地	6-1	事業立地	6-1-1	事業立地の検討

目 次

事業体系表（和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類）

1	高等教育事業	
(1)	学部開放授業	1
(2)	大学院授業	3
(3)	大学院経済学研究科修士課程	4
(4)	学習環境の充実	4
2	生涯学習機会の提供	
(1)	わだい浪切サロン	5
3	地域研究事業	
(1)	GIS活用プログラム	13
(2)	オープンデータの取り組み	13
(3)	主権者教育プログラム	14
4	各種連携	
(1)	学校教育分野	17
(2)	生涯学習・まちづくり分野・産学連携分野	17
(3)	岸和田サテライト友の会の活動支援	17
5	組織体制・事務局機能	
(1)	組織的な連携推進	21
(2)	地域連携コーディネーターの活動	22
(3)	広報活動・各種協力	23
(4)	地域からの問い合わせ対応	24

資料編

目次/A 開講授業データ/B 岸和田市附属機関委員等の就任状況/C 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿
/D 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿/E 連携ひろばワダイ×キシワダ会員名簿
/F 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿/<参考>事業告知チラシ

1 高等教育事業 目指す姿 I : 高等教育機能を発揮している

和歌山大学岸和田サテライトでは、本学が有する高等教育機能を活用して、社会人の学び直し・地域課題の探求やスキルアップなど、大人の学習ニーズに即した学部開放授業（教養科目）と大学院授業（経済学研究科）を開講しています。

2018年度は、学部開放授業4科目と大学院授業8科目を開講し、受講・履修者はのべ109名でした。授業は、土曜日と平日夜間に浪切ホールで開講しています。

(1) 学部開放授業

（「教養の森」センター）

18歳以上の方を対象に、本学「教養の森」センターのサテライト科目を学部開放授業として開講しています。〈地域課題探求型科目〉、〈文化・教養型科目〉の2系統の授業を開講し、社会人と本学の学部生が履修しています。

学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
前期	色彩計画論 〈地域課題探求型科目〉	システム工学部	川 角 典 弘	24 (5)
	文化資源と地域再生 (アゴラセミナーIB) 〈文化・教養型科目〉	教育学部他	菊川 恵三・大橋 直義 (和歌山大学) 西田 正宏・田中 宗博 前川 真行 (大阪府立大学)	41 (26)

(内：学部学生数)

■ 「色彩計画論」

日常生活に欠かせない色彩デザインについて、人間心理・色彩科学・配色計画・空間色彩・デジタルメディアによる色彩といった色彩計画の基礎を学びました。浪切ホール周辺にてスマホアプリを使ったフィールドワークを実施しました。



■ 「文化資源と地域再生」

和歌山県を中心にその周辺地域（泉佐野市や岸和田市等）には、多くの文化資源が残っている。さまざまな文化資源を取り上げ、その内実を知るとともに、その有効性について考察しました。この授業は、和歌山大学と大阪府立大学の協働で実施し、大阪府立大学からも多くの学生が参加しました。



学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
後期	GIS を利用したオープンデータアプリ開発 <地域課題探求型科目>	システム 工学部	満 田 成 紀 原 祐 二	17 (9)
	スポーツ老年学 <文化・教養型科目>	教育学部	彦 次 佳	15 (5)

(内：学部学生数)

■GIS を利用したオープンデータアプリ開発

GIS（地理情報システム）を利用した地域データの分析方法や、アプリケーションの開発方法を学びました。これらの知識によって、自らがデータ分析やアプリ開発の担い手となり、さまざまな地域活動を支えることができるようになればいいと思いました。



■スポーツ老年学

ヘルススポーツ（健康の維持と改善）、レジャースポーツ（余暇充足・楽しさの追求）、マスタースポーツ（技を磨き競うことを楽しむ）を紹介し、それぞれの目的・楽しみ方からスポーツが担う役割を論じ、スポーツの持つ可能性と価値を上げながら、成人・中高年期のスポーツプロモーションについて共に考え、議論しました。



(2) 大学院授業

(経済学部研究科)

大学院授業では、経済学研究科による〈高度職業人養成型科目〉、〈地域課題探求型科目〉を開講し、幅広い年代の社会人科目等履修生および大学院生がともに学んでいます。高度職業人養成型科目は、将来の修士課程進学を視野に入れた科目等履修生が多く、地域課題探求型科目の一部は、(大阪市、堺市を除く)大阪府内地方自治体職員の研究研修事業(マッセ OSAKA「地方分権ゼミナール」)としても活用されています。

学期	科目名	担当教員	受講者数
前期	マクロ経済学特殊問題	荒井 信 幸	6 (5)
	会計史特殊問題	三光寺 由実子	11 (8)
	法人税法特殊問題	片山 直 子	4 (3)
	会社法特殊問題	清 弘 正 子	10 (8)

学期	科目名	担当教員	受講者数
後期	租税法実務特殊問題	近畿税理士会	5 (4)
	産業経済地理学特殊問題	藤 田 和 史	6 (3)
	企業会計論特殊問題	山 田 恵 一	10 (8)
	現代中国経済特殊問題	金 澤 孝 彰	8 (5)

(内：大学院生数)



「マクロ経済学特殊問題」(前期)



「産業経済地理学特殊問題」(後期)

(3) 大学院経済学研究科修士課程

2018年度、税理士を目指す院生が岸和田サテライトで租税法の研究指導（平日夜間開講）を受けました。

学期	科目名	担当教員	受講者数
通年	専門研究Ⅰ・Ⅱおよび修士論文	片山直子	5
通年	専門研究Ⅰ・Ⅱおよび修士論文	米村忠司	7

(4) 学習環境の充実

■サテライト図書資料

大学院・学部授業のテキスト・参考文献をはじめ、租税法院生の研究に必要な専門書や大学と地域の連携に関する図書を中心に購入し、蔵書の充実に努めています。2018年度は、購入図書19冊、その他各学部の定期刊行物の受入れ、本学教員の抜き刷り論文、他大学の報告書などを受け入れました。

加えて、大学院生をはじめ配架図書の貸し出しを実施しました。



■サテライト自習室

大学院生、科目等履修生を中心に、2018年4月～2019年3月に46件の利用があり、論文執筆や資料検索等のために自習室が有効に活用されました。



2 生涯学習機会の提供 目指す姿Ⅱ：市民の生涯学習活動をサポートしている

(1) わだい浪切サロン

毎月第3水曜日の夜(2月と8月を除く)、年間10回の“mini 和歌山大学”を開催しています。「わだい浪切サロン」は地域への本学の教育・研究活動のPRの場としての役割を果たすとともに、住民の多様な関心に応える学習と交流の機会として定着しています。

(所属・職名は当時)

回	月日	内 容	話題提供者(所属)	参加数
101	4.18	地域を舞台とした短編映画のこれから	木川 剛志 (観光学部 准教授)	37
102	5.16	後世に伝えたい流行り歌	米山 龍介 (観光学部 教授)	46
103	6.20	「川」って足りてる? ～地域の自然資源を 楽しみながら使う技～	田代 優秋 (COC+推進室 特任助教)	24 ※大雨 警報
104	7.18	発達障害のある人と関わる中で ～大学生の支援を中心に～	森 麻友子 (障がい学生支援部門 講師)	72
105	9.19	食がつなぐあらたな縁	植田 淳子 (食農総合研究所 特任助教)	26
106	10.17	おいしいものは好きですか?	大坪 史人 (岸和田サテライト 地域連携コーディネーター)	31
107	11.21	こどもの視力と眼の健康 ～絵本とクイズで 遊びながら視力検査～	高橋 ひとみ 桃山学院大学 法学部 教育学 教授	41
108	12.19	運動で体脂肪を燃やすテクニック	豊岡 示朗 大阪体育大学 教育学部 教授	54
109	1.16	1回で採血お願いします! ～ベテラン看護師の暗黙知の 可視化と教育支援～	真嶋 由貴恵 大阪府立大学 大学院 人間社会システム科学研究科 現代システム科学専攻	33
110	3.20	航空会社のサービス価値創造	阪口 葉子 大阪国際大学 客員教授	50

年間参加者合計 414名

わだい浪切サロン」参加者アンケート（感想）から

◆ 第101回「地域を舞台とした短編映画のこれから」

- ・観光学に興味があり、和歌山大学への進学を考えており、受けさせていただきました。お話をきいて、より興味をもち受験勉強を頑張ろうと思いました。とてもおもしろく興味深いお話ありがとうございました。（10代・女性）
- ・ちまたの人達に受ける映画が撮りたいのではなく、地方の人達はその映画を見て、その地方に誇りを持って愛するというに意味があるし、そういう映画を撮ることが今の日本には必要だということはとても納得しました。映画が地域の活性化などに通ずるということは、今まで考えもしませんでした。（20代・女性）
- ・福井という街のかつての賑わいや和歌山での映画製作等、今までにあまり聞かない映画の試みを知らせて頂き、興味深い話でした。大変有難うございました（40代・男性）
- ・映画ってあまりみない、ショートフィルムって宣伝しかないと思ってたけど、街の存在、人の存在を残せる tool になるのですね。（50代・女性）



◆ 第102回「後世に伝えたい流行り歌」

- ・今日は S60～S55 年代の曲を聞かせてもらったけれど、改めて日本の曲の歌詞のすばらしさ、情景が目に浮かぶようです。（70代・女性）
- ・大変期待し自ら受講させていただきました。素晴らしい講義でした。途中までしか聞けなかったもので、もう一度、いやもう二度でも続講を聞きたいです。有難うございました。（是非実現させて下さい。）（70代・男性）
- ・歌謡曲をきいて育った世代なので、とてもなつかしい気持ちで聴きました。もっとたくさん曲を聴きたかったです！！ ありがとうございました。（50代・女性）
- ・時代とともに伝えた流行歌、仕事疲れのころがあたたかくなりました。日本の流行り歌楽しませてもらいました。（50代・女性）



◆ 第103回「川」って足りてる？～地域の自然資源を楽しみながら使う技～

- ・「プール」と聞くと、人工的な施設で、消毒された水が入ったものというイメージしかありませんでしたが、今日のお話のテーマであったように、自然を生かした河川プールがあるなんて知りませ

んでした。あまり泳げない人でも楽しめそうなので、素晴らしいなと思いました。(20代・女性)

・河川のプールを作るという考えとても興味をもちました。自然と共生の一つとしてとても良い利用方法ですね。
(60代・男性)

・公共財としての河川の利用として、水辺や水源の管理の大切さと共にもっと有効利用できる方策をもっと広く考えるべきだと思う。大切な指摘だと考えています。
(70代・男性)



◆ 第104回「発達障害のある人と関わる中で」

・和大での取りくみを聞きたいと思ったので、最後に紹介していただけて良かったです。後半部分をさらに詳しく聞きたかったです。(30代・女性)

・発達障害の特性・大学の取組がよく分かりました。個別の学生さんへの支援は大変だと思いますが、学生さんの将来につながる、大切な取り組みだと思います。(40代・女性)

・小学校の教員をしています。私が接する子供達その後どのように育っていくのかということを考えながら話を聞かせていただきました。高等教育の中ですごすのは、小学校時代とは違ってもっと高度な人間関係が必要なのだろうと気づきました。その中で育っていくことができる社会になるように私自身も考えていきたいと思います。(40代・男性)

・保育士として関わっていた子どもたちが、障害をもっているとその後どういった支援を受けていけるのか学ぶ機会がないので、とても勉強になりました。参加してよかったです。ありがとうございました。(40代・女性)

・大学生の娘がいる母親です。娘がこまっている、又親としてこまっている生活面、学校面での対策の仕方が少しですが、聞いたように思います。今日、教えて頂いたことを1つでも娘の立場にたって、考えられるようにしたいです。(40代・女性)

・大変興味深い内容で、もっと広く深く話を聞きたいと思いました。支援の前段階において、学生自身がまず特性に気づくこと、また受け入れることがなかなか難しそうだなと感じました。今日の知識も踏まえて、自身でも障害や学生支援について学んでみようと思います。ありがとうございました。(30代・女性)



◆ 第105回「食がつなぐあらたな縁」

・食べることは生きることに直接つながっていき、又一緒に作り食べることの大切さ、それによって縁をつなぎ、人と人をつなぐ「知り合い」に育てるように感じたので、これからも大切にしていこうと思いました。(60代 女性)

・人と地域の縁について、わかりやすく説明や自分で考えるための導入があり、良かったです。

(10代 男性)

・先生のお話わかりやすく、参加者が真剣に考え作業を通して他の方々とも関わりを持てるように工夫されていた。関心のある内容だったので興味をもって講義をきいていた。(60代 女性)

・話し合い形式で話題交換をしていくのはなかなか最初のうちは難しかったが、なじんできてよかったと思う。「縁」というキーワードでこの話題はこれからの地域振興に新しい視点だと思う。(40代：男性)



◆ 第106回「おいしいものは好きですか？」

・直売所の取組みについて、わかりやすく教えていただきました。直売所の役割の一つに、都会とは離れた農村部や山間部に居住している方たちの食生活を支えていることを初めて知りました。直売所の良さや特色だけでなく、課題面についてもストレートにお話していただけたので、大変勉強になりました。(20代：女性)

・食品の流通について、知らなかったことばかりで勉強になりました。観光ではない地域内のインフラとしての 機能を持つ、直売所の可能性を知りました。(女性)

・平易な言葉で理解しやすく説明されていたのと資料が見易かった。(50代：男性)

・日本の農業の様子を少し勉強しました。今後の農業政策を注目したいと思います。(70代：男性)

・浪切サロンで、農業や食物の話題はあまりなかったように思いました、新鮮でした。農産物の流通のこと、魚との流通の遅いもわかりよかったです。また、給食、米、自給率など話題が豊富で考えさせられること多かったです。高齢化、過疎化、産直売所に生産者がもってくるが大変になってきている、買い物に行くこともしんどくなっていること、考えさせること多かったです。(60代：女性)



◆ 第107回「こどもの視力と眼の健康」 ～絵本とクイズで遊びながら視力検査～

- ・非常に面白く、ためになりました。子供たちの弱視、普段意識していない事を気付けたので、意義を感じました。(30代：男性)
- ・本日はありがとうございました。今日聞いたことを、1人で多くの人に伝えていきたいと思えます。子供が楽しそうに視力検査をしている姿が印象深かったです。(40代：女性)
- ・講演ありがとうございました。3才の視力検査の重要性がとてもわかるお話しでした。3才児は検査が難しいお子さんもあるので今日聞いたことを参考に工夫して検査したいと思えます。ありがとうございました。

(40代：女性)

- ・今まであまり知らなかった本日のテーマのことを知らせて頂き、大変有難うございます。大人にも応用が利くということも知り面白かったです。(40代：男性)



◆ 第108回「運動で体脂肪を燃やすテクニック」

- ・脂肪代謝の仕組みの実験値をもとに教えて頂き、参考になりました。実際の運動の仕方の指示を頂きよかったです。(60代：女性)
- ・食べることは簡単ですが、筋力を付け脂肪を落とす事が大変である事が理解出来ました。効率の良い運動を行う事で効果が出やすい事がわかりました。(60代：女性)
- ・わかりやすい説明で今後生活の中に運動を取り入れたいと思えます。(70代：女性)



- ・体脂肪を落とす効果的な方法を教わった。あとは実行のみ！(70代：男性)

◆ 第109回「1回で採血お願いします！」～ベテラン看護師の暗黙知の可視化と教育支援～

- ・今、まさに看護技術を教える立場の者です。今日の学びを参考に技術演習を考えていきたいと思えます。(50代：女性)
- ・看護技術のスキル化という新しい方向を知ることができて面白かった。(70代：男性)
- ・「技」があれば本当に助かるなと思えました。真嶋先生のように研究されている方がいてくれて、ありがたいです。(女性)

-
- ・採血を1回で！という難しい課題・興味のある課題を提供して頂き有難うございます。可視化の難しさ、有効性を確かめられました。これからも研究を続けて頂けるようお願いしたいと思いません。(60代：女性)
 - ・日頃の仕事、家事、生活の中で“暗黙知”の事がたくさんあるが、客観的に見たり、視点があまり意識してなかったなあと。特に仕事に関し。部下や新人育成が大事になってくる中、具体的に数値化、言語化する事が大事だなあと思いました。(女性)
 - ・自分自身が3週間毎に採血・点滴をしているので大変になりました。ただ、今までは無意識に看護師の方を信頼し、まかせていましたが、逆に少し怖くなりました。(60代：男性)
 - ・データで見ると言語化できないものも、知識としてはとりいれることができるので良いとおもった。(10代：女性)
 - ・ただ、「技術はやらないとできなくなっていく」というまとめは明解で解りやすかったです。折角アンケート機器を備えていたのでアンケートをもっと取って頂ければよかったのにと思いました。(40代：男性)
 - ・看護師とは全く異なる職についているが、参考になる部分が多かった。様々な分野の知識をもっと学びたいと感じた。また、努力したくても努力の方法が分からない人が増えている。そんな中、自己学習しやすい学習支援システムは今後より一層必要になると思います。(30代：男性)
 - ・全く知る機会がなかった内容だったのでおもしろかったです。こういう研究をみるとAI・ロボットが採血する時代も近そうだなあと感じました。(40代：女性)



◆ 第110回「航空会社のサービス価値創造」

- ・中学生にもわかりやすい内容だった。知らないことがたくさんあって、興味深いことばかりだった。(乗客用の機体の中にも貨物が入っているなど) 韓国の案内ロボットもおもしろかった。(10代：男性)
- ・航空会社の取り組みについて理解し易く講談していただいたので、参考になる点が多くあった。(50代：男性)
- ・航空会社のみではなく、その他の業種にも役立つ情報(しくみ)だと思いました。(30代：女性)
- ・元CAさんのお話をきけておもしろかったです。ありがとうございました。(30代：女性)

-
- ・ 久しく「航空機」を利用したことが無く、最近の「航空機」運搬会社や技術革新サービスの最近の状況等話題として提供して頂いて良かった。(60代：男性)
 - ・ お客様に対するサービスの向上・日常業務の中で気づいていなかった事がたくさん見えてきました。“どこよりも早く変わる”に毎日チャレンジしているのですが、とても参考になりました。本当にありがとうございました。(40代：男性)
 - ・ 飛行機に乗りたくなりました!!阪口さんチーフパーサーの!!サービスとは何か!を知りました!ありがとうございます!“機転”“権威委譲”(40代：男性)
 - ・ 航空会社が常に進歩を探求していることが解り、日常生活をする上でも参考になりました。(50代：男性)
 - ・ 知らないことを色々お教えくださりありがとうございました。お話も上手です。(80代：男性)
 - ・ わかりやすい解説説明で大変良かったです。(70代：男性)
 - ・ 飛行機のことを色々わかりました。受付するのに動くロボットがおもしろいなと思いました。(40代：男性)
 - ・ 貴重な話を聞かせていただき、ありがたかった(60代：男性)
 - ・ 航空会社の歴史について、意外と知らなかったので興味深かったです。CAさんおススメの観光地やお土産を知りたかったかな…(40代：女性)
 - ・ CAの仕事がよくわかった(60代：男性)
 - ・ 大好きな航空業界の話をCA・GSを経験された方から聞いて楽しかったです。また、実際に阪口先生が経験されたことも盛りこんで生の声を聞いて面白かったです。もっともっとお話をお伺いしたかったです。時間がたつのがあっというまでした。第2弾をやってほしいくらい満足した会でした。(20代：女性)
 - ・ 今日輝かしい講話を聞かせて頂き有難うございました。きれいな阪口先生井のお若いときの写真を見ることが出来、直接お目にかかれて嬉しかったです。私は1歳のときからの夢、ロサンゼルスで働くことが夢です。先生のお話からヒントを得たいので、下のメールアドレスにメール下さい。(30代：女性)
 - ・ 旅に行きたくなりました。関空に行くだけでもうれしいですね。
 - ・ 講義内容は総じて一般的であったが、知らないことも多々あった。(70代：男性)

-
- ・ 航空会社、CA の裏話等面白く聴けました (70 代 : 男性)
 - ・ ヒコーキは安全第一だということを改めて、聞かせてもらって安心しました。(60 代 : 男性)
 - ・ みなさん聞きにこられた方々の興味深く講義を聞かれていることだなあと感銘しました。多くの方がご意見、御質問されているところもこの講義がすごくみなさんに興味深く移っている証ですね。(50 代 : 男性)
 - ・ 楽しかったです。素敵なお話を聞いて良かったです。(50 代 : 男性)
 - ・ 航空会社のサービス向上に対する姿勢がうかがえて興味深かったです。修士論文で研究された北米路線の維持・発展に向けた背作についてのお話をお伺いしたかったです。(ドル箱路線のようなイメージがありました) (40 代 : 女性)
 - ・ この数年飛行機に乗っていないので、IT や、いろいろなサービスの話が聞いて良かったです！(60 代 : 男性)
 - ・ 降雨空会社のサービスをわかりやすく、親しみやすく例を示していただきながら、の楽しいお話でした。これを機に飛行機を利用して旅行に行く方がさらに増加してほしいですし、できれば空港、航空会社に魅力を感じて働かれる方も増えればいいなと思います。(40 代 : 女性)
 - ・ 大変わかり易いお話であつという間でした (50 代 : 女性)
 - ・ 者作りの内側 (内情) とか・職人技・跡取りの少ない職種とか・伝統芸能・女性の社会進出・男女平等 (30 代 : 女性)
 - ・ 地域の歴史や、鉄道の話のマニアックに聞けるとおもしろいです。(30 代 : 女性)
 - ・ 今後の大阪・子ども子育て・老人化社会 (40 代 : 男性)
 - ・ 「自然科学部門」のテーマを希望いたします。(70 代 : 男性)
 - ・ 原子力発電所について…廃炉のやり方等・キャッシュレスな生活について…本当に日本で必要なのか？災害時には不便 (40 代 : 女性)
 - ・ みんなで夢を語り合って、アドバイスをし合う機会を設けて下さったら、全員が確実に夢への進歩ができるいい機会になると思います。航空会社についての講話の機会もっと増やしてほしいです。(30 代 : 女性)



3 地域研究事業

目指す姿Ⅲ：地域課題の解決と大学の知的資源と住民の交流をサポートしている

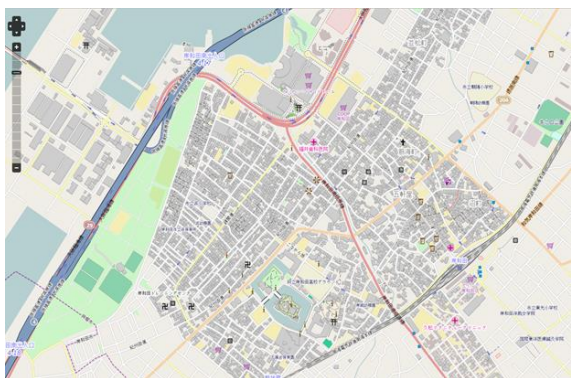
高等教育事業（学部開放授業・大学院授業）や生涯学習事業「わだい浪切サロン」等では必ずしも対応が十分にはできない地域課題の解決支援と住民参加型事業の構築を目的とする地域課題研究型プログラムを2012年度から実施しています。

（1）GIS活用プログラム

サテライト友の会のメンバーが、2015年度後期に開講した学部開放授業「地図で地域をみる発信する」を受講し、地図を地域活動に活用できることを学んだことをきっかけに、地図を使った地域づくり・まちづくりにつながることを目指した取り組みです。

友の会メンバーが主体となってマッピング実行委員会を設立し、府立岸和田高等学校とも連携し、まち歩きやマッピングを進めました。

また、2016年度末に、マッピング実行委員会は発展的解消を遂げ、オープンデータ・GISを利用した取り組みを進める自主学習グループが2017年4月からスタートし、月一回程度泉州地域において、マッピングパーティを行なってきました。（左下写真：整備した岸和田市街地マップ）



（2）オープンデータの取り組み

誰でも自由に使える「オープンデータ」を使ったり作ったり考えたりする世界同時開催のお祭り「インターナショナル・オープンデータ・デイ」(IODD)に参加し、「オープンデータソン」を開催しました。前回に引き続き、地域情報を市民が自らまちに出て歩き、情報を採取し、採取した情報をデータ化したり、ネット上の地図に反映させたりすることを目的にした取り組みです。

OpenStreetMapなどのツールを用いて、情報をマッピング有志の団体の協力を得ながら、自分たちでも探し出して、オープン化することを目指しました。

■岸和田オープンデータソン 2019

○開催 3月2日(土) 9:30~12:00

○場所 泉大津市立北公民館

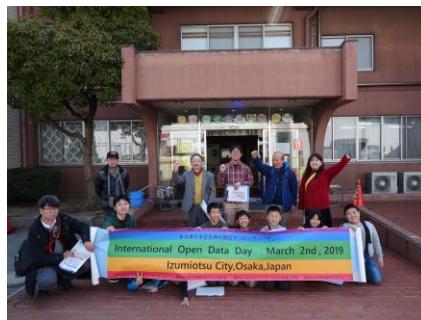
和歌山大学岸和田サテライトと友の会が、泉州らへんでオープンデータとGISを楽しむ会及び泉大津市立北公民館サポーターチームと協力し、泉大津市北公民館付近を津波避難ビルやその経路のマッピングをおこないました。(左下はオープンデータソン後整備されたOpenStreetMap)

オリエンテーション 満田成紀 システム工学部准教授

○参加者 12名

○主催 和歌山大学岸和田サテライト・

○協力 岸和田サテライト友の会、泉州らへんでオープンデータとGISを楽しむ会
泉大津市立北公民館サポーターチーム



(3) 主権者教育プログラム

国民主権と選挙制！ ～こうして政治は私たちのものになった～

2019年の参議員選挙と地方統一選挙にあわせ、国会、選挙の仕組みを参加高校生に和歌山大学の学生が説明を行いました。

説明後、グループに分かれ大学生をファシリテーターとして、高校生の身近な不満や問題を政治的に考えさせ、グループごとにポスター発表を行いました。

【企画会議】

○開催 1月23日(月)

コーディネーターを中心とし、経済学部・観光学部・システム工学部の学生、教育学部大学院生より意見を聞き高校生の参加者を増やせる内容を加え企画しました。

■プログラムの概要

○開催 2月11日(日) 13:00~16:00

講師 和歌山大学 経済学部・観光学部・システム工学部・教育学部大学院生

協力 岸和田市、大阪府立岸和田高等学校、岸和田市立産業高校

【周知案内】

岸和田市内の府立高等学校3校(岸和田・和泉・久米田)、岸和田市立産業高等学校並びに、近大泉州高等学校を訪問し、趣旨説明と案内を行いました。

【構成】

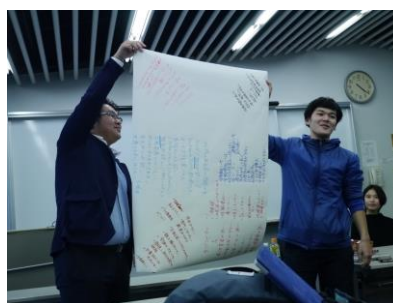
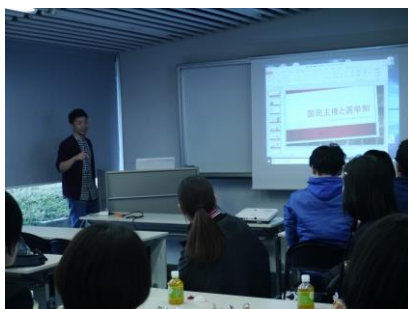
第1部 和大学生が語るワダイライフ&大学体験ワークショップ

- ・和歌山大学4学部の学生が学部紹介を担当(40分)
- ・高校生と学生のフリートークを実施(40分)



第2部 模擬授業「国民主権と選挙制！」～こうして政治は私たちのものになった～(90分)

- ・模擬授業を受け、学生をファシリテーターとして自分たちの身近な問題や不満を出し合う
- ・それを具体的な政治課題として考え合いまとめる
- ・グループごとに発表する



第3部 意見交換

- ・引率教員からの意見と感想
- ・岸和田サテライト代表の総評

【参加者の感想】

高校の授業では、選挙の方法や手続きの説明が主なので、今回のプログラムは選挙の内容が解りやすかった。

【岸和田サテライト代表の総評】

身近なささいな思いや疑問から学びを深めることができるよう、和歌山大学及び岸和田サテライトは今後も貢献できるよう努めて参ります。



4 各種連携

目指す姿Ⅲ：地域課題の解決・大学の知的資源と住民の知的交流をサポートしている

(1) 学校教育分野

■和歌山大学学生と高校生の交流

○開催 2月11日(日) 13:00~16:00

和歌山大学の学生が、高校生に和歌山大学の学部紹介として学びの分野は卒業後の進路などを説明しました。説明後、高校生とのフリートークを設け交流を図りました。高校生の身近な問題や疑問を出し合い、それを高校生とともに政治的課題として考え発表しました。

(2) 生涯学習分野・まちづくり分野・産学連携分野

■まちライブラリー ブックフェスタ 2018 in 関西

○開催 5月5日(土)・6日(日)

地域の情報をオープンデータとして公開し、地域の活性化につなげていくイベントに参加しました。

5日(土)は、久米田池、久米田寺、久米田古墳群を歩き情報を収集しました。

6日(日)は、まち歩きをし、得た情報を編集し成果を発表しました。



(3) 岸和田サテライト友の会の活動支援

岸和田サテライト友の会は、受講者(授業・「わだい浪切サロン」)の同窓会的組織です。今年度は、友の会の主催による「夏季講演会」、「冬季講演会」について企画・運営・支援等を行いました。

■第41回岸和田市民フェスティバル(協力:岸和田市立図書館)

岸和田サテライト友の会と岸和田サテライトが協力して出展している市民フェスティバル。今年度は「忘れない!備えよう大地震!」をテーマに、身近な防災の展示・実演コーナーを設けました。また、岸和田市立図書館の協力を得て、防災のための紙しばいの読み聞かせを行いました。子育てが楽しくなるまちをつくろう」という思いを持ったママたち 岸和田 Mammy's サポータ

一と共同で展示・説明・実演を行い、たくさんのお子さんや家族連れが参加しました。

○開催 5月3日(祝)(岸和田市中央公園)

○内容 「忘れない!備えよう大地震!」

体験:災害時に使える「新聞紙スリッパ」・「キッチンペーパーマスク」の作り方

実演:紙芝居「いなむらの火」・「台風がきたぞ」

展示:防災関連グッズ・防災関連図書

紹介:岸和田 Mammy's サポーターの活動情報誌 “きし♡ふぁみ Vol.1” の配布を支援しました。

○参加者 約400名



■総会・夏季講演会

○開催 8月4日(土)14時20分~16時30分(浪切ホール研修室)

○講演 「東大阪地域にみる中小企業によるキャリア教育支援の実践と地域社会づくり

~地域中小企業×大阪府立布施北高等学校のデュアルシステムの取組みを事例として~」

○参加

地域社会を取り巻く問題の多様化、深刻化を背景に、中小企業による地域社会づくりへの貢献に期待が高まっています。しかしこうした動向とは対照的に、中小企業の地域社会に果たす役割に関する学術研究は、日本において皆無であり、その実態は明らかになっていません。そこで、東大阪地域における中小企業と高校との協働によるデュアルシステム(実践的な現場教育)の取組みを事例に、中小企業による地域社会づくりへの関与の実態、およびそうした関与が有する複合的意義を概観しました。また、講師がこうしたテーマを研究することになった経緯や、当該テーマを研究することのおもしろさや難しさ、意義について説明がありました。



■市民活動ステーション「コラボラ」へ参加

○開催 7月28日(土) 13:00~16:00 場所 岸和田福祉センター

○内容

岸和田サテライト友の会&岸和田サテライトが出展いたしました。
大学と地域をつなぎ地域の活性化に協力しようと会長を中心に活動しました。



■ぼうさいカフェ

○開催 12月1日(土) 14時30分~16時30分(浪切ホール研修室)

○内容 2018年9月4日、台風21号が近畿地方を直撃し、大規模停電が発生し泉州地域に大きな被害をもたらしました。

友の会は、防災で学んだ情報をかねてより発信してきました。

台風21号の被害を振り返り、水や電気、食料の備蓄などで困った体験を話し合い、防災対策の必要性を確認しました。また、世代や年齢、家族構成、健康面など、各家庭により備え方が異なることなどが、カフェ方式にすることで情報の交換ができました。

ここからKit with きしふあみ のみなさんからは、100円均一で買える防災グッズ、防災リュックなど、若いお母さん方の防災用品を展示、紹介に加え岸和田市社会福祉協議会の協力を得て、他世代の方々と交流ができました。



■冬季講演会

○開催 2月16日(土) 14時～16時10分

○内容

第1部 講演「釜石の奇跡」 話し手 旭堂 南舟 氏

講演氏を招き、東日本大震災の際、釜石市立釜石東中学校と鶴住居(うのすまい)小学校の児童・生徒、約570名が大津波から自分たちの命を守った奇跡を聞きました。

日頃から積み重ねられてきた防災教育が、実を結んだ講演でした。

第2部 ぼうさいカフェによる市民防災の取り組み報告 発表者 鱧谷会長

12月に実施したぼうさいカフェでは、参加者から様々な意見が聞けました。

災害時の自助への備えの重要性を改めて説明し、防災意識を高める活動をしました。

第3部 授業報告「GISを利用したオープンデータアプリ開発」 発表者 楠本幹事

学部開放授業の受講生の自主学習グループの学習成果を発表しました。

友の会の活動や、地域貢献の報告も合わせて行いました。



■岸和田シティプロモーション推進協議会 公開定例会への参加

○開催 2月27日(水) 18時30分～21時30分

○内容 2018年9月4日、台風21号の直撃の際の困った体験を語り合い、地域で「命」と「暮らし」を救う、守る知恵やアイデアを出し合う取り組みに、岸和田サテライト友の会の鱧谷会長が講師として招かれました。

停電時に会長が自宅で活用したソーラー発電装置の紹介を行いました。

■友の会幹事会

今年度は、台風21号の被災で、防災意識がより高まり、多くの取り組みを行いました。岸和田市民フェスティバルでの啓発活動や、ぼうさいカフェ、冬季講演会、他のボランティア団体からの要請を受け、講師として啓発活動に取り組みました。

活動の企画にあたっては、友の会幹事会を8回開き企画・運営し活発な活動を行いました。

5 組織体制・事務局機能 目指す姿Ⅳ：持続可能な連携組織となっている

(1) 組織的な連携推進

■地域連携戦略ビジョン・アクションプランに基づく事業実施

2014年度、和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会において、「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン（2014-2023）」が承認されました。

2018年度の地域連携事業については、このビジョンに示す連携の4つの「目指す姿」の達成のために、前年度末に評価シートを用いて検証をおこない、各事業項目についての定量的・定性的評価により抽出した課題を「地域連携アクションプラン（2017-2019）」へ反映させました。



■第21回和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会

4月24日、瀧 寛和 和歌山大学長、永野 耕平 岸和田市長をはじめとする会員の出席により、今年度の協議会を開催しました。2017年度事業報告、2018年度事業方針および事業計画案の承認に続いて、大学と市の連携事業全般についての意見交換がおこなわれました。（岸和田市役所）

■和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会

地域連携推進協議会のもと、連携事業の企画・運営・調整を担う企画運営委員会を、2018年度は4回開催しました。

- 第1回 2018年4月16日（岸和田市）
- 第2回 2018年7月20日（和歌山大学）
- 第3回 2018年10月1日（岸和田市）
- 第4回 2018年3月15日（和歌山大学）

■調整会議

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会のもと、大学と市の日常的な情報交換と地域連携業務の調整を図るため、月例で担当者レベルの調整会議を実施しています。

■岸和田市協働推進チーム会議

岸和田市自治振興課、政策企画課、生涯学習課、岸和田市ボランティアセンターなどの担当者とともに、情報交換、地域の課題共有、各種事業の調整などの月例会議に参加しました。

(2) 地域連携コーディネーターの活動

■ブックフェスタ実行委員会

岸和田まちライブラリーの実現に向け、春・秋のブックフェスタの企画および実施を行いました。(ブックフェスタ開催日 2018年5月5～6日、12月2日)

■長岡造形大学・新潟青陵大学・新潟青陵短期大学・新潟薬科大学の4校合同開催のサテライトキャンパスサミットへの参加

COC+の取り組みの紹介、地域や学生の意見を聞きながら運営していくマーケットインの視点で運営、セメスター制を導入し、1セメスターを丸々、地域での活動に充てている事例、郊外に立地する大学の都市部のサテライトの活用事例など4校の報告を聞きました。(2018年7月10日)

■食農総合研究所との連携

沖縄やんばるにおける共同売店の調査を行いました。(2018年7月5～7日) また、地域農林経済学会近畿支部大会を誘致し、波切ホールにて開催し、JA いずみの関係者等にも参加いただきました。(2018年7月28日)

■近隣大学および研究機関との連携

大阪府立大学、桃山学院大学、大阪体育大学、近畿職業能力開発校などに訪問し、波切サロン等での連携について意見交換を行いました。

■「地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー」への参加

大学の地域連携にかかわる業務を担当する教職員の情報交換を目的として、本学主催の合宿形式のセミナーを高知大学で行い、事務局として携わりました。(2018年9月12日～15日)

■岸和田子ども食堂への学生との連携参加

NPO法人ここからkitが主催する参加型の子ども食堂に学生サークルと共同で参加しました。(2018年10月～2019年3月)

■アグリカルチャーコンペティションでの受賞

大学生による食・農・地域・JA等に関する研究発表大会「アグリカルチャーコンペティション」に援農サークル agrico.と参加し、審査員特別賞を受賞しました。

(3) 広報活動・各種協力

■ウェブサイト、Facebook ページの運営

岸和田サテライトウェブサイト・ブログ・Facebook ページにおいて、各種事業の開催案内や実施後の記録公開など、速やかな情報発信に努めました。

■メールマガジンの発行

岸和田サテライトに関する催しのご案内やピックアップを紹介しています。

■岸和田サテライトリーフレット

岸和田サテライトの機能、業務をコンパクトに紹介しています。



■岸和田商工会議所『きしわだ所報』連載

本学教員の連載コラムを掲載しました。

「おいしいものは好きですか」

大坪 史人 域連携コーディネーター

(2018年4月号～2018年9月号)



「くらしとゴミ」

金子 泰純 和歌山大学システム工学部 教授/COC+推進室長

(2018年10月号～2019年3月号)



■浪切ホール『ナミトモ』

浪切ホール広報リーフレットに「わだいなみサロン」をはじめとする岸和田サテライト事業の案内を掲載しています。

(4) 地域からの問い合わせ対応

2018年4月～2019年3月、電話、電子メール、訪問などによる約150件の問合せ・相談がサテライトオフィスに寄せられました。各問合せ・相談に対して、回答、資料送付、本学各担当部署への照会などをおこない、速やかに対応しました。

<主な内容>

- ・本学教員への指導・助言などの要請
- ・本学学生への地域活動などの参加要請
- ・サテライト開講授業（募集要項、開講内容、大学院への進学など）について
- ・サテライトや学内の事業（「わだいなみサロン」、各種セミナーなど）について
- ・サテライトの業務内容、業務時間などについて
- ・本学の入試（大学案内、一般・推薦・社会人入試など）について
- ・教員免許状更新講習について
- ・その他（本学の教育内容など）

資料編

目次 (2018年度)

A	開講授業データ	26
B	岸和田市附属機関委員等の就任状況	36
C	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿	37
D	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿	37
E	連携ひろばワダイ×キシワダ会員名簿	37
F	和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿	38

<参考>事業告知チラシ

資料 A 開講授業データ

2018年度 学部開放授業

【前期開講科目】

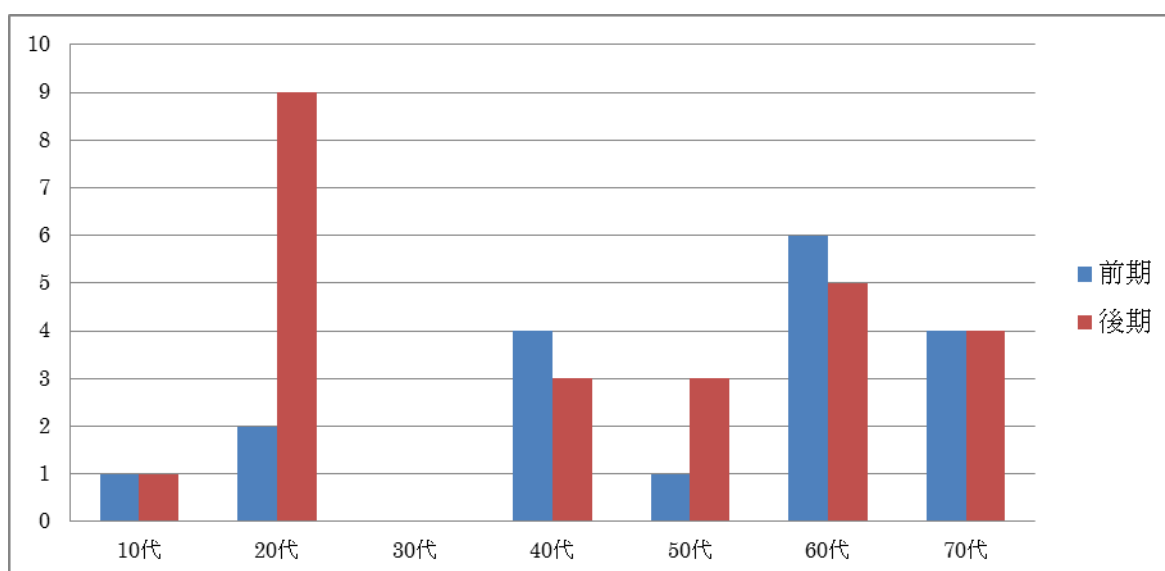
- ・色彩計画論
- ・文化資源と地域再生（アゴラセミナー I B）

【後期開講科目】

- ・GIS を利用したオープンデータアプリ開発
- ・スポーツ老年学

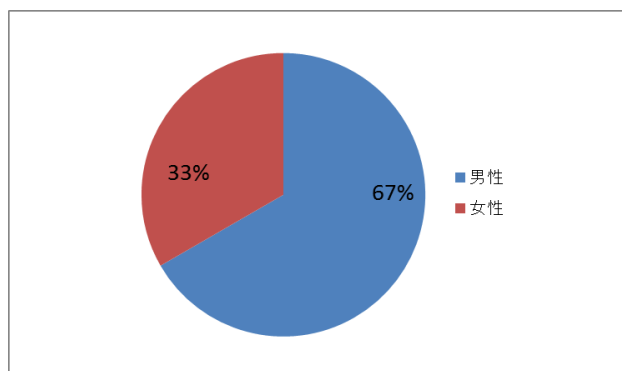
※アンケート回答数 43（内訳：学部開放授業受講者 31 学部生 12 回収率：100%）
文化資源と地域再生（アゴラセミナー I B）に関しては未実施

（1）受講者の年齢（n=18）（学部開放授業受講者・学部生アンケート回答者）

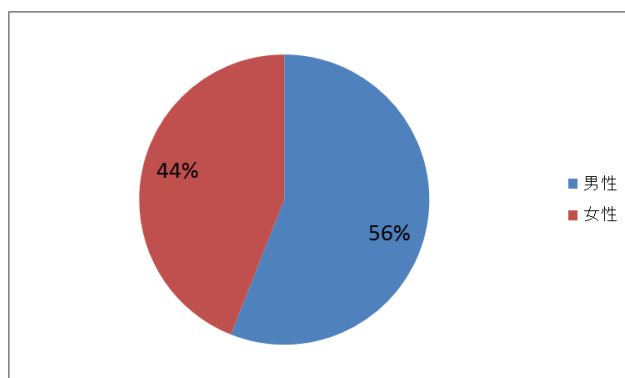


（2）履修・受講者の男女比（学部開放授業受講者・学部生全員）

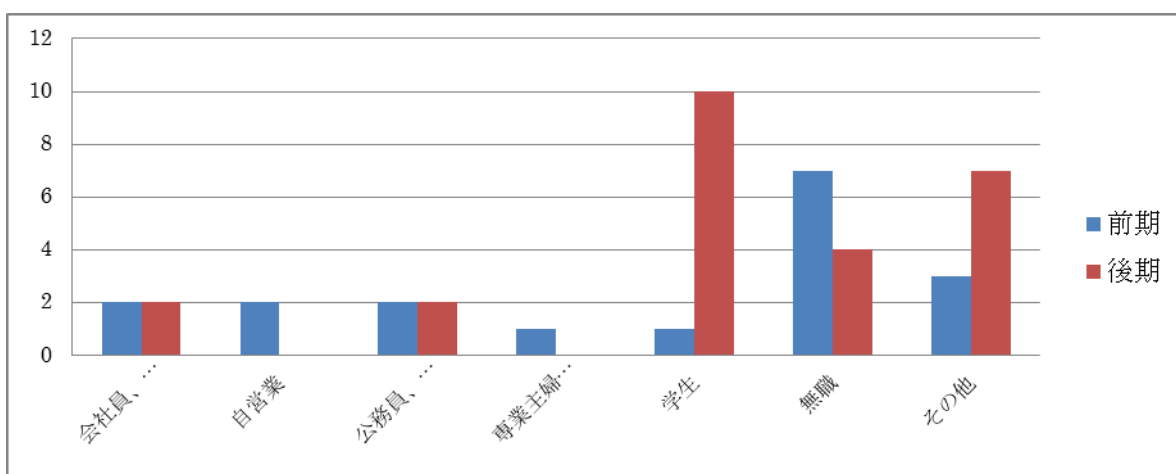
前期（n=18）



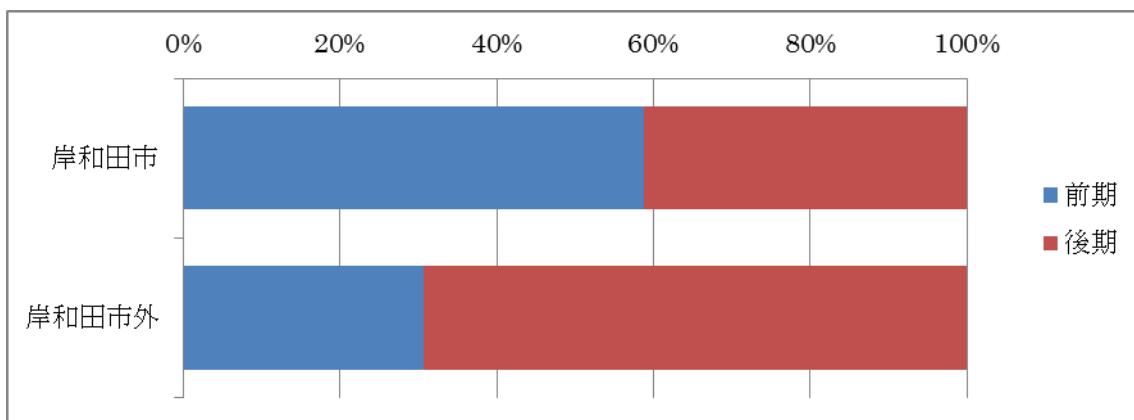
後期 (n=25)



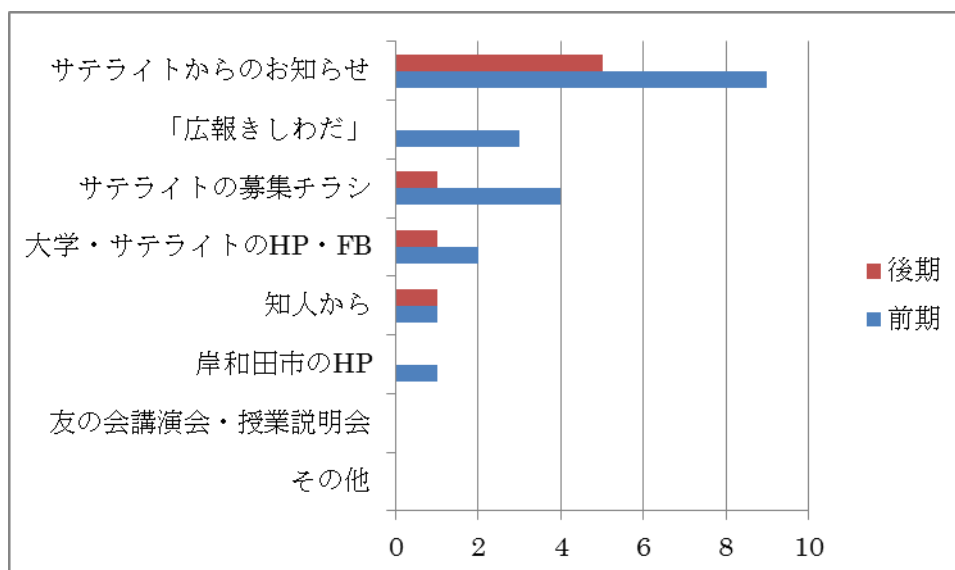
(3) 受講者の職業 (n=16) (学部開放授業受講者アンケート回答者)



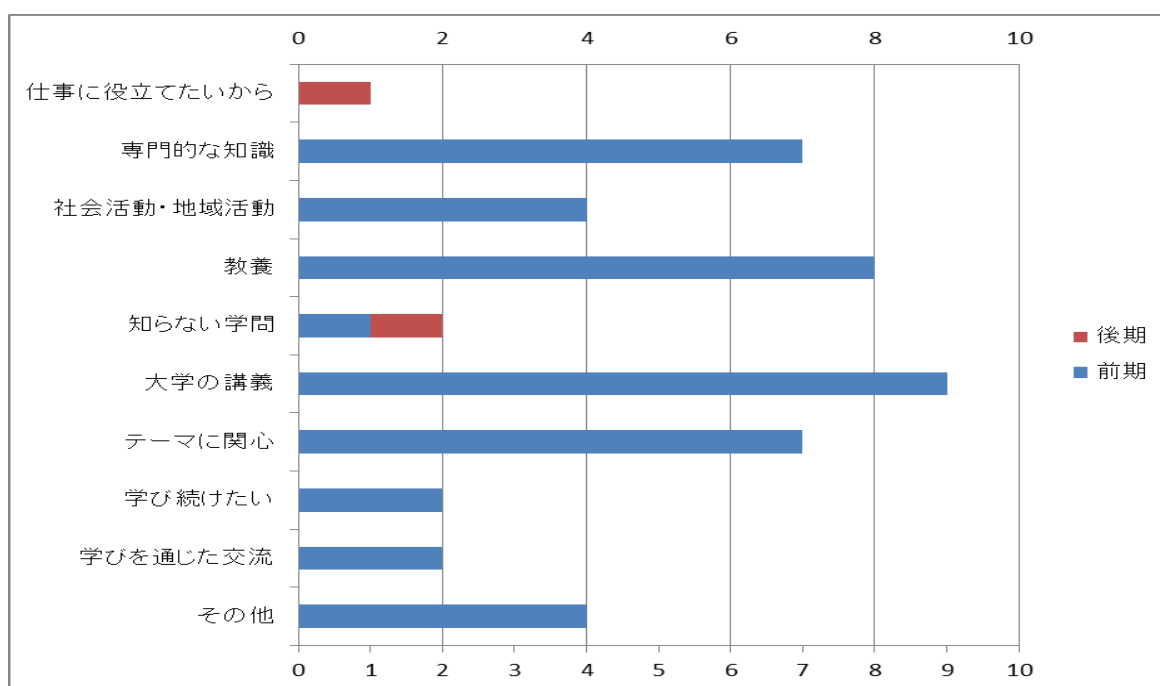
(4) 受講者の居住地 (n=54) (学部開放授業受講者アンケート回答者)



(5) 当該授業の開講を知った手段 (n=23) (学部開放授業受講者アンケート回答者)



(6) 当該授業の受講動機 (学部開放授業受講者アンケート回答者) (複数回答)



専門的な知識…専門的な知識を得たいから
 教養…教養を高めたいから
 大学の講義…大学の講義を受けたいから

社会・地域活動…社会や地域の活動に役立てたいから
 知らない学問…知らない学問分野を学びたいから

(7) 授業についての自由記述 (一部)

色彩計画論

- ・非常に興味深い内容でしたが、実際よくのみ込めるのに時間がかかりそうなので、できれば次回のイベントや授業があればよいと思う。
- ・次回は具体的に色彩計画に取り組めたらよいのにと感じている。
- ・身のまわりにある色に興味をもつようになりました。心理と色の関係など楽しい講義をありがとうございました。またデザインを学べる機会があることを楽しみにしています。
- ・色彩に関する知識を持ち合わせていなかったが、今回の講座で基礎知識を得ることが出来て有意義であった。
- ・具体的でわかりやすく、楽しかったです。今後に活かします。
- ・実際に講義を受けてみて、大学の難しい授業を受けられて楽しかったです。

GIS を利用したオープンデータアプリ開発

- ・ちょっと難しかったので、復習が必須なのにできなくて毎回大変でしたが、サポートしてもらって何とかゴールできました。
- ・満田先生のスライドは安定して分かりやすかったです。
- ・PC の操作スキル及び全体の知識不足によりついていけなかった。どの様な内容のものが諮問できるか等の方向性や出来る範囲を知り得たことは収穫でした。

スポーツ老年学

- ・スポーツの知らない世界が知れてよかったです。マスターズやボランティアなど、新しい楽しみ方がわかったので、いろいろ挑戦していきたいです。ありがとうございました。

2018 年度 大学院授業

【前期開講科目】

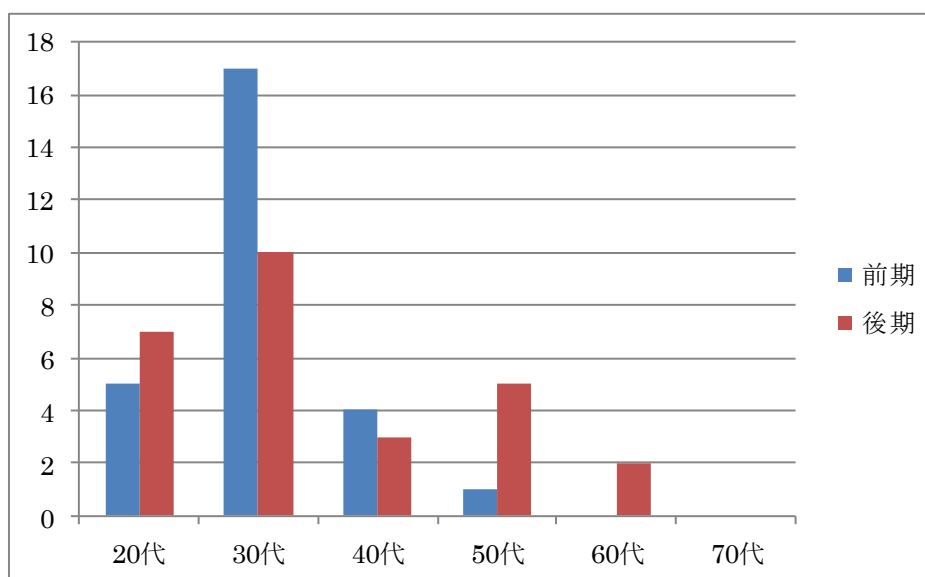
- ・マクロ経済学特殊問題
- ・会計史法特殊問題
- ・法人税法特殊問題
- ・会社法特殊問題

【後期開講科目】

- ・租税法実務特殊問題
- ・産業経済地理学特殊問題
- ・企業会計論特殊問題
- ・現代中国経済特殊問題

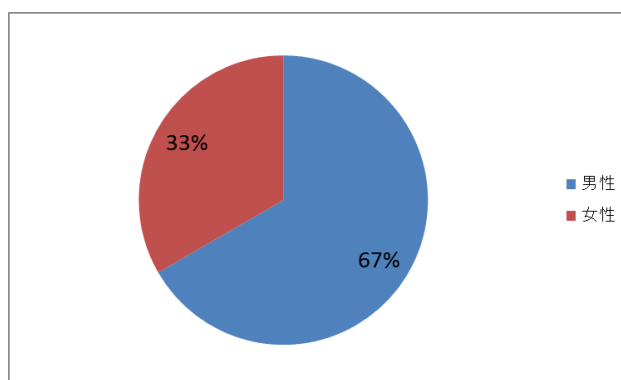
※アンケート回答数 58 (内訳：科目等履修生 16 大学院生 38 未記入 4 回収率 93%)

(1) 受講生の年齢（大学院生・科目等履修生アンケート回答者）（n=27）

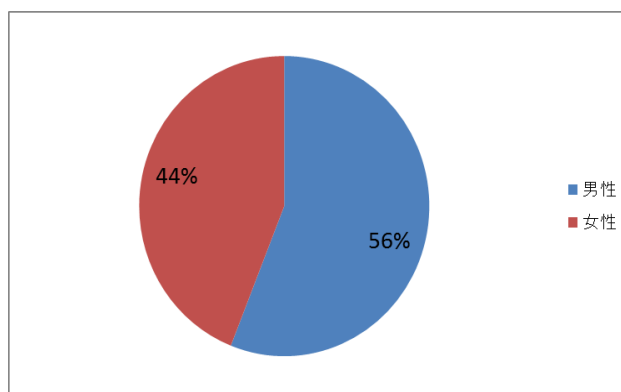


(2) 受講生の男女比（大学院生・科目等履修生全員）

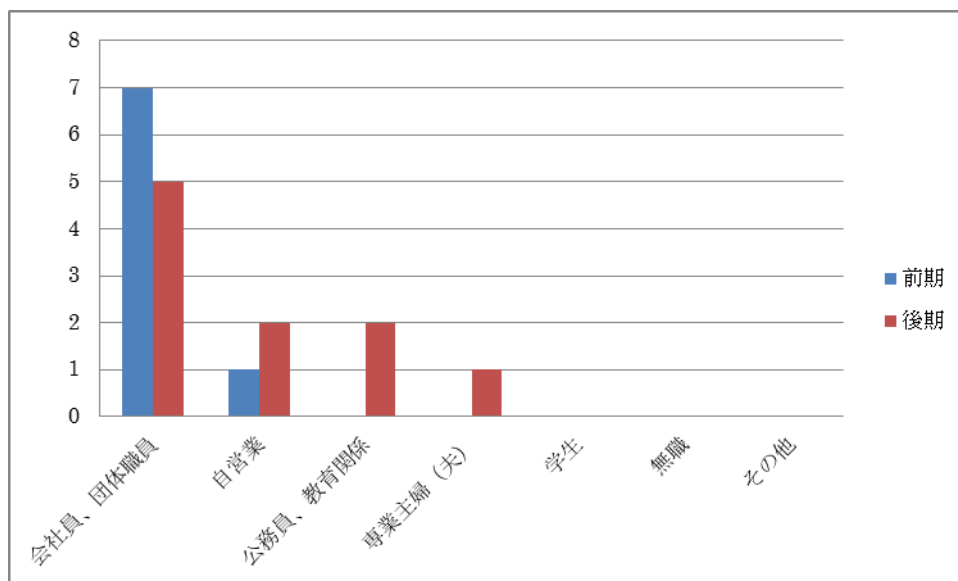
前期（n=27）



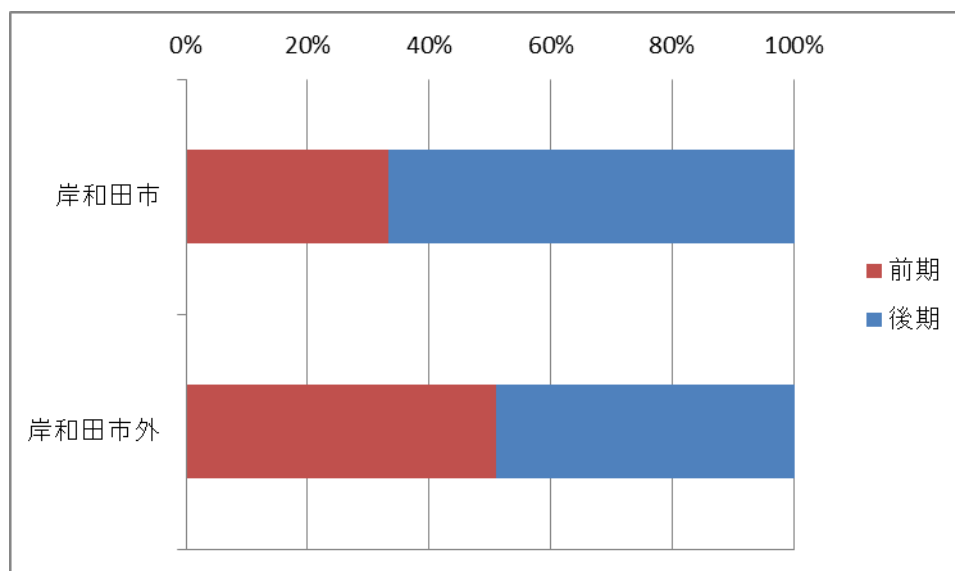
後期（n=27）



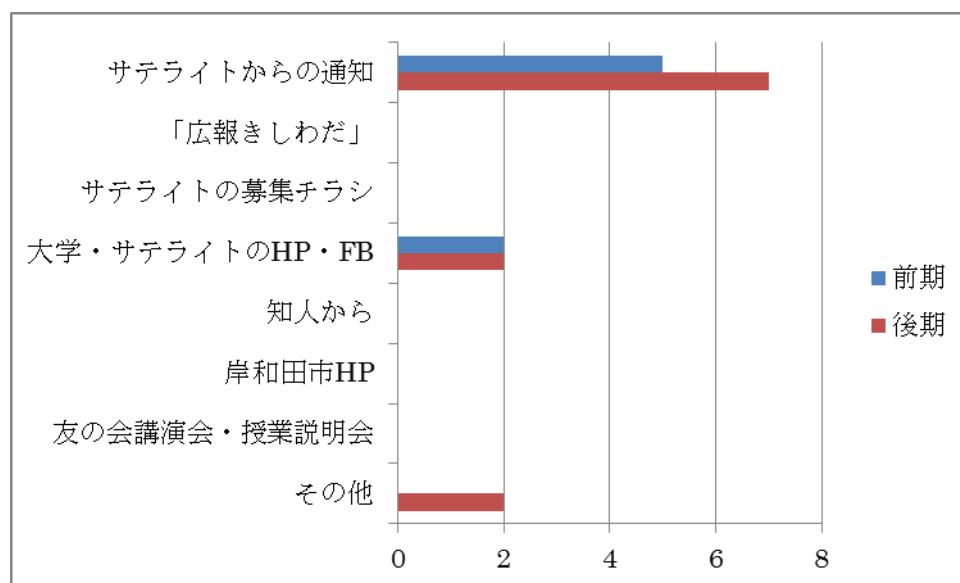
(3) 受講生の職種（科目等履修生アンケート回答者）（n=7）



(4) 受講生の居住地（大学院生・科目等履修生全員）（n=X）



(5) 当該大学院授業の開講を知った手段（科目等履修生アンケート回答者）（n=18）



(6) 授業についての自由記述（一部）

マクロ経済学特殊問題

- ・毎講義 荒井教授の講義を楽しみにしておりました。色々な質問に対して豊富な知識と経験で、ご返答頂き、大変勉強になりました。
- ・いろいろ勉強になりました。知識だけでなく、コンピューターも利用して、それは実用とつながって、とても良かったです。コンピューターの利用についてもっと練習したかったです。それもできたら、もっといいと思います。
- ・マクロ経済学に関して、いろいろな話題があります。先生の準備はとっても詳しくて、授業の雰囲気も良いです。いろいろな知識を得ることができ、勉強になりました。ありがとうございました！
- ・統計の原データにあたり、経済の実体を読みとくというテクニックを学べて、大変勉強になりました。また、留学生の方もおり、他国経済の実際も知ることができ、興味深く受講できました。

会計史特殊問題

- ・会計の歴史について、今まで触れる機会が無かったので、興味深く、ためになる授業でした。
- ・簿記の歴史を年代別・地域別に考察する事は現代行われている簿記につながるものがほとんどであり、驚いた。現在の知識がさらに深まりました。
- ・現代にある問題を過去の事実からどのように叙述していくのかという技術を学べたように感じます。論文テーマの問題解決でなやんでいる方は受講がいいかもしれません。
- ・会計の歴史について、理解を深める事が出来ました。時代の流れや要請によって、会計が生成

され、成長していく課程がとても興味深く、良かったです。

- ・自分の全く知らない分野である「会計史」についての通史について学ぶことができました。会計・簿記の専門的なことはよく分からなかったですが、複式簿記が20cの大企業の発展に大きく貢献したことが分かりました。そこには近代の会計簿記の歴史の発展があり、社会・産業の発展に伴って応用時代に合せて発展があったことが分かりました。6回の授業に、内容については、なかなか追いついていけませんでしたでしたが、楽しく参加できました。
- ・各章、それぞれ特徴があって盛りだくさんで、複式簿記が誕生し、発展していく過程を興味深く学ばせて頂きました。第7章では、東インド会社の議事録のスライドを見せて頂き、歴史的に価値のあるもので感動しました。簿記の計算については勉強したことがありますが、簿記や会計の歴史は学んだことがなかったので、是非授業を受けてみたいと思い、参加できて、良かったです。ありがとうございました。

法人税法特殊問題

- ・判例研究のやり方も全然わからない中で、細かな点から教えて頂いて、とても勉強になりました。
- ・租税法が行政法の一分野という事を正しく理解できました。司法制度についても理解できました。
- ・論文の書き方のベースとなるものを教えていただけたので、勉強になりました。
- ・法人税特殊問題の講義を通じて、教授に判断の読み方、資料の集め方、文章の書き方など基本的な事項を丁寧に教えて頂きました。仕事にも通じる事柄もたくさんあり、大変有意義な受講となりました。

会社法特殊問題

- ・毎回、授業が楽しく、課題についての疑問点など尋ねてみたいことが色々出て来て、興味深かったです。もっと授業を受けていたかったです。今日で授業が終わるのが残念です。
- ・会社法の判例をはじめて触れる機会となり、とても参考になりました。今後の実務でも、条文や判例を参考に仕事をすすめたいと思います。
- ・会社法の知識が乏しいため、皆様にご迷惑をお掛けしてしまいました。会社法の判例は、新鮮で興味深かったです。
- ・最終回の報告用のレポートをつくるのはとても辛かったです。やっけて良かったです。論文を書くために何をすべきなのか全くわからない状態でしたが、ほんの少しだけやるべきことがわかった気がします。自分の考え、疑問点を言葉で伝えることの難しさを学びました。
- ・実務で会社法の考え方が必要だったので勉強になりました。ありがとうございます。
- ・会社法を学ぶ機会が少なかったため、受講できて大変有意義でした。また、論文の発表機会も設けていただき、大変ありがたかったです。
- ・論文の書き方や考察へのアプローチまで、授業の内容を超えて議論及び教授いただき、ありがとうございました。

租税法実務特殊問題

- ・税理士先生の考え方、意見を聞けてとても為になる授業でした。
- ・税理士の先生の実務の話を生で聞けて、たいへん勉強になりました。
- ・実務家の先生のお話は大変参考になりました。今後の仕事・勉強に役立てたいと思います。
- ・仕事で会社の中でしか税理士の方とお話する機会がないので、授業を通して様々な税理士の方とお話できて、勉強になりました。

産業経済地理学特殊問題

- ・自由に討論させてもらったので和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく受講させて頂きました。ありがとうございました。
- ・学生が自由なテーマで発言出来るのが良かった。社会人が中心の教室であったので、各人の人生経験に基づく内容で、相互の理解を深め、良い勉強の機会を得ることが出来た。
- ・日本、アメリカにおける地域格差と経済発展との関係について良く理解できた。先生の解説がとても分かり易かった。

企業会計論特殊問題

- ・暗記すべき点を指摘するだけでなく、きちんとどうしてそうなるのかまで説明して下さり、とてもわかりやすかったです。
- ・簿記、財務諸表論の理論を深く学ぶことができました。来年度もこの講義があれば是非受講したいと思います。
- ・今後も岸和田にて授業を行って頂けることを希望します。
- ・来年もまた開講して頂きたいです。ありがとうございました。
- ・幅広く、たくさん論点を教えて頂けるので、会計を体系的に学習することができました。また授業の中で前回の復習等もできたので良かったです。来年も受講したいと思います。
- ・自分自身の知識の整理とアップデートに必要に役立ちました。多くの時間簿記の学習をしてきましたが、今までで一番わかりやすかったです。また来年も受講したいと思います。
- ・お世話になりました。ありがとうございます。
- ・理論を詳しく教えて頂けるので、とても勉強になります。今期は法人税法の規定も教えて頂け、大変興味深かった。来年も続きの範囲を開講して頂きたいです。ありがとうございました。
- ・去年に引き続き受講しました。簿記については、今後税理士試験を受験する上でも必須となり、大変勉強になりました。

現代中国経済特殊問題

- ・教科書の内容を読んでいくというカリキュラムでしたが、教科書に書いていない事や、実体験など、たくさん貴重な話を聞く事が出来て、幅広い知識を得る事が出来ました。
- ・よく勉強しました。
- ・和大周辺に住んでいる和大生にとって、通学はやや不便と思う。
- ・中国経済の中身について学究的に理解をしていく手段が少ないので、今回の講義は経済以外の国内事情も含めて学ぶ良い機会となった。社会人として当然持つておかなければならない見識を身に付ける場として、今後も岸和田サテライトのカリキュラムに期待したい。学部開放授業との日程調整を希望します。
- ・わかり易くかみ砕いて、ことわざ等裏話も変え語って頂いたので長時間にもかかわらず退屈することなく興味深く拝聴でき、中国経済への理解も深められました。ありがとうございました。

B 岸和田市附属機関委員等の就任状況（2018年度）

附属機関名	教員名	所属
子ども・子育て会議	米澤好史	教育学部教授
岸和田市児童福祉審議会	米澤好史	教育学部教授
建築審査会	藤田和史	経済学部准教授
産業活性化推進委員会	藤田和史	経済学部准教授
総合計画審議会	藤田和史	経済学部准教授
都市計画審議会	宮川智子	システム工学部教授
景観審議会	堀田祐三子	観光学部教授
開発審査会	堀田祐三子	観光学部教授
岸和田市環境審議会	江種伸之	システム工学部教授
岸和田市環境審議会	吉田登	システム工学部教授
岸和田市環境審議会	原祐二	システム工学部准教授
岸和田市産業廃棄物減量等推進審議会	吉田登	システム工学部教授
岸和田市競輪場施設整備検討委員会	伊藤央二	観光学部講師

C 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿（2018年度）

和歌山大学		岸和田市	
学長	瀧 寛 和	市長	永 野 耕 平
理事（地域連携、企画、評価担当）	遠 藤 史	副市長	小 山 藤 夫
理事（教育、学生、入試担当）	石 塚 互	副市長	土 佐 邦 之
理事（研究・国際担当）	呉 海 元	教育長	樋 口 利 彦
理事（総務・財務・施設担当）	山 口 良 文	魅力創造部長	大 西 吉之助
副学長・生涯学習部門長	足 立 基 浩	学校教育部長	谷 桂 輔
COC+推進室長	金 子 泰 純	生涯学習部長	濱 上 剛 志
岸和田サテライト代表	藤 田 和 史	企画調整部長	藤 浪 秀 樹
研究・社会連携課長	千 葉 清 行	企画調整部企画課長	上 東 東
学務課長	堀 内 伸 也		

D 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿（2018年度）

和歌山大学		
副学長・生涯学習部門長	足 立 基 浩	代表委員
岸和田サテライト代表（経済学部准教授）	藤 田 和 史	代表委員
研究・社会連携課長	千 葉 清 行	
研究・社会連携課副課長	高 橋 正 美	
学務課長	堀 内 伸 也	
学務課生涯学習係長	森 本 充 昭	
岸和田サテライト地域連携コーディネーター	大 坪 史 人	
岸和田市		
企画調整部企画課長	上 東 東	代表委員
企画調整部企画課職員	蓮 井 睦 美	
企画調整部企画課職員	井 元 智 美	
企画調整部企画課職員	前 田 千 華	

E 連携ひろばワダイ×キシワダ 会員名簿（2018年度）

	団 体 名
会員	いずみの農業協同組合
会員	岸和田商工会議所
会員	大阪鉄工金属団地協同組合
会員	岸和田市観光振興協会
会員	岸和田市立浪切ホール
会員	特定非営利活動法人ラヂオキシワダ
会員	和歌山大学岸和田サテライト友の会

F 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿（2018年度）

職 名	所 属	氏 名
サテライト代表	経済学部准教授	藤 田 和 史
地域連携コーディネーター	学務課	大 坪 史 人
事務補佐員	学務課	梅 田 由 美

2018 年度 事業告知チラシ

岸和田サテライト社会人受講生募集 平成 30 年度前期 和歌山大学

大人の教養を身につけたい
地域のことをもっと知りたいたい

詳しくは募集要項をご覧ください！

学部開放授業受講者募集科目 (教養科目)

色彩計画論

日常生活に欠かせない色彩デザインについて、人間心理/色彩科学/配色計画/空間色彩/デジタルメディアによる色彩といった色彩計画の基礎を網羅的に解説します。人が観しやすさ、快適に感じる配色デザインの知識を得ることで、都市景観や広告物のより方を審美的な視点で観察/評価し、多角的な視点からまぶくりや景観問題に取り組みのヒントを探ります。前半は、色彩により受ける心理的影響や効果、優れた配色を行うための色彩調和と色彩表現について学び、色彩デザインの基礎知識を理解します。後半からは、実践としてプロダクト設計、インテリア、服飾・都市計画の分野で行われる色彩計画やカラグラフィックの技法を解説します。

【担当】川内 典弘 (和歌山大学 システム工学部)
【日時】5月12日・19日・26日、6月2日・9日・16日・30日
いずれも土曜日: 13:00~16:10
6月16日のみ: 13:00~17:50
6月16日は、フィールドワークを予定しています。
(近切ホール周辺の周辺でスマホアプリを使った色彩調査)

※「色彩計画論」を履修される方のうち希望者は、下記の科目(一部)を併修/履修することが出来ます。履修希望の場合は、申込の欄に併修希望の科目を明記してください。
詳しくは募集要項をご覧ください。

「文化資源と地域再生」 (定員 20名・抽選)

関西には、多くの文化資源が残っています。古くは城や城下の遺跡群は言うまでもなく、各地に伝わる伝承を記した碑や、寺社もそうである。数百年も経つといは先人から受け継いだ文化遺産は、その土地を再生するための宝庫に変わらなくてはなりません。また、自然環境にやさしい文化遺産を再生するための宝庫に変わらなくてはなりません。以上のような視点から、さまざまな文化遺産を取り上げ、その内実を知るとともに、その有効性について考えます。

【担当】西田 正史・田中 智博・前川 康行 (大阪府立大学)
野川 寛二・大橋 直典 (和歌山大学)
【日時】8月8日(水): 13:00~16:10 / 8月9日(木): 9:30~16:10
8月8日(金): 9:30~16:10 ※こちらは開講可能な日程です。

和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 岸和田市立浪切ホール 2F
和歌山サテライト 検索
電話・Fax: 072-433-0875

社会人受講生募集 (前期)

岸和田サテライト社会人受講生募集 平成 30 年度後期 和歌山大学

大人の教養を身につけたい
スポーツのことをもっと知りたいたい

和大学生と一緒に学びます！
試験はありません！

「スポーツ老年学」

ヘルススポーツ(健康の維持と改善)、レジャースポーツ(余暇充足・楽しみの追求)、マスターズスポーツ(技を磨き続けることを楽しむ)を紹介し、それぞれ目的・楽しみ方からスポーツが持つ役割を論じ、スポーツの持つ可能性と価値を捉えながら、成人・中高年期のスポーツプロモーションについて考え、議論します。

【日時】10月6日、20日、11月11日(日) フィールドワーク、11月17日、12月15日、22日 (土曜: 13時~17時、日曜: 10月20日、11月17日は、14時から18時まで)

☆ 裏面もご覧ください！

アプリケーションの開発方法を学んでみたい

和歌山大学

「GISを利用したオープンデータアプリ開発」

オープンデータとは、さまざまなデータを利用可能な形式で公開する活動です。現在、まちづくりなどの地域活動を効率的にするものとして、全国の自治体や公益活動団体を中心に広く取り込まれています。しかし、公開されているさまざまなオープンデータをうまく活用するには、データ処理に関する専門知識が必要です。この科目では、GIS(地理情報システム)を利用した地域データの分析方法や、アプリケーションの開発方法を学びます。

【日時】10月13日、20日、27日、11月10日、17日、24日、12月1日、8日 (土曜: 9時半~12時半)

☆ 詳しくは募集要項をご覧ください！

和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 岸和田市立浪切ホール 2F
和歌山サテライト 検索
電話・Fax: 072-433-0875

社会人受講生募集 (後期)

WA 第 101 回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

地域を舞台とした 短編映画のこれから

話題提供者 木川 剛志 (観光学部 准教授)

映画は映画館で上映される話題だけではなく、地域在住の映画監督たちが自分たちの地域の魅力を描いた自主制作短編映画が、毎日どこかの地方で生まれています。これらの映画のほとんどは映画館でも上映されませんが、ネットで見ることもできません。地域イベントや企画で開催される自主制作映画の映画祭で上映されるだけです。確かにそれらの中には低予算ゆえにクオリティが劣るものもありますが、それでも地域から発信される映画として可能性があります。

本講義では、このような地域を舞台とした短編映画、それらが上映される映画祭について紹介したいと思います。

参加無料 申込不要

日時 2018年 4月 18日 水 19:00~20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 4階 交流ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F Tel & Fax: 072-433-0875 [E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

南海本線/岸和田駅下車 徒歩約10分 駐車場有 (無料)

第 101 回 わだい浪切サロン

WA DA 第 102 回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

後世に伝えたい流行り歌

話題提供者 米山 龍介 (観光学部 教授)

「歌は世につれ世は歌につれ」と言いますが、流行り歌を聴くと時代背景や人生を思い出すことができます。

また、歌詞や曲の創り方をみると、まさに日本固有の文化と言えるものが沢山あります。

昭和の歌で次代に語り継ぎたい歌と一緒に聴いて分析し、歌いましょう！

参加無料 申込不要

日時 2018年 5月 16日 水 19:00~20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 4階 特別会議室

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F Tel & Fax: 072-433-0875 [E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

南海本線/岸和田駅下車 徒歩約10分 駐車場有 (無料)

第 102 回 わだい浪切サロン

わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwith 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず自身も研究テーマや専攻のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwith 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず自身も研究テーマや専攻のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

WA DA I

第103回 わだいな浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

「川」って足りてる？ 一地域の自然資源を楽しみながら使う技一

話題提供者 田代 優秋 (COC+推進室 特任助教)

川を楽しむ一番の暮らしの中で「川」を思う機会なんてないかもしれません。まちづくり、防災対策、環境安全が難しそうな場所ではないはず。もっともっと楽しめる川の使い方があっていい。日本全国にはなぞなぞみたいな「川の中にプール」を造った地域があります。他にも面白くて、楽しくて、あっと驚く川の使い方があります。明治から昭和にあった面白い使い方も含めて紹介しながら、明日からのあなたの「川」の使い方が広がる時間にしたと思います。

**参加無料
申込不要**

日時 2018年6月20日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月に8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaii和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまと身近な研究テーマや年のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第103回 わだいな浪切サロン

WA DA I NA

第104回 わだいな浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

発達障害のある人と関わる中で ～大学生の支援を中心に～

話題提供者 森 麻友子 (障がい学生支援部門 講師)

平成28年に差別解消法が施行されました。それに伴い、高等教育機関、特に国立大学法人では、障害学生支援に関して、大きな転換期を迎えています。私は、本学の保健センターで7年ほど学生のカウンセリング業務に従事し、3年ほど前からキャンパスライフサポートルームで障害学生支援に携わっています。そこで今回は、本学の発達障害学生の支援の実践をご紹介しますと共に、発達障害をもつ人がどのような困難を抱えているのか、また、どのように関わっていくのか、臨床心理士の立場から発達障害のある人と関わることで日々感じる事についてお話をしてみたいと思います。

**参加無料
申込不要**

日時 2018年7月18日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月に8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaii和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまと身近な研究テーマや年のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第104回 わだいな浪切サロン

WA DA I NA MI

第105回 わだいな浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

食がっなぐ新たな縁

話題提供者 稲田 淳子 (食農総合研究所 特任助教)

現在、「食べ物」や「食べること」を通じて、これまでの身近な家族、友達、知り合い...等とは少し異なるつながりが新しく生まれて来ています。

例えば農山村や漁村等での滞在型旅行ともいわれる「グリーンツーリズム」では、その地域ならではの、食や田舎の体験、人々との交流を楽しみに訪れる都市住民や外国人旅行者が増加しつつあります。一方、都市部においても、地域の病院やJA、個人等が主体となり、児童を対象とした食育などの取り組みも始められており、いずれも「食」を介したつながりが強かれています。

今回はこれらの取り組みを紹介し、農業や農村、また都市部における食を通じた取り組みの可能性について考えてみたいと思います。

**参加無料
申込不要**

日時 2018年9月19日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月に8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaii和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまと身近な研究テーマや年のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第105回 わだいな浪切サロン

WA DA I NA MI KI

第106回 わだいな浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

おいしいものは好きですか？

話題提供者 大坪 史人 (岸和田サテライト 地域連携コーディネーター)

私は、美味しいものが大好きです(嫌いな人もいないと思いますが)。では、みなさん食べ物がどうやって、手元に届くのか考えたことはありますか？ 農家(漁師)さんがつとめて(獲って)...。なかなか考えたこともないかもしれませんね。産店街の八百屋さんや魚屋さん、スーパーマーケット、農水産物販売所など生鮮品が売られているお店だけでもいっぱいあります。輸入や加工品なども含めたら、売られているところは、数えられません。

こういったお店でみなさんが食べ物を購入するまでについて考えていきます。また、私の研究で携わった地域とその特産品をみていきます。

**参加無料
申込不要**

日時 2018年10月17日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月に8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaii和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまと身近な研究テーマや年のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第106回 わだいな浪切サロン

WA DA I NA MI KI RI

第107回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

こどもの視力と眼の健康

～絵本とクイズで遊びながら視力検査～

話題提供者 高橋 ひとみ 氏
桃山学院大学 法学部 (健康教育学) 教授

こどもが「きちんと見えているか」、心配になったことはありませんか？
幼児期のこどもの視力検査は、難しいものです。こどもは自分から「見えていない」とは言わないので、早期の発見、治療を行わないと改善しにくくなります。きちんと見えていないと、その後の学習や運動にも影響が出てきます。
そこで、こどもの近視視力不良についての説明を行い、幼児向けのクイズと絵本を用いた視力検査も実施します。

参加無料
申込不要

日時 2018年 11月 21日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第107回 わだい浪切サロン

WA DA I NA MI KI RI SA

第108回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

運動で体脂肪を燃やすテクニック

話題提供者 豊岡 示朗 氏
(大阪体育大学 教育学部 教授)

身体に蓄積した体脂肪量は、生活・運動習慣、食生活、加齢などの影響により40歳代を過ぎると、個人差が大きくなります。体脂肪率が30%を越えてくるとメタボ・ロコモ症候群に陥んでいく例もみられます。その体脂肪を運動(ウォーキングやジョギングなど)で効果的に燃やすテクニック(強度・時間の長さ・運動時間帯など)を紹介します。
実践なくして、減量なし。運動できる身体を持つことが体脂肪を減らし、健康寿命をのばす鍵となります。

参加無料
申込不要

日時 2018年 12月 19日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第108回 わだい浪切サロン

WA DA I NA MI KI RI SA RO

第109回 わだい浪切サロン 和歌山大学・大阪府立大学連携特別講座

1回で採血お願いします！

～ベテラン看護師の暗黙知の可視化と教育支援～

話題提供者 真嶋 由貴恵 氏
(大阪府立大学 大学院 人間社会システム科学研究科 現代システム科学専攻 教授)

今回の講演では、看護職教育において必要な看護技術の習得を支援するためのICT教育についてお話しします。実は看護師の評価は、この技術の良し悪しで判断されることが多いのです。そのため、看護技術を習熟させる学習支援が求められています。特に注射は、身体に針を刺し薬液を注入するという「痛み」を伴うので、上手な人にもいらぬ技術の一つです。本講演では、この注射技術を取り上げ、看護師や看護学生の考える「コツ」とらえ方の違いや手順の間違いなどを分析し、自己学習で看護技術の習得ができるような学習支援システムについて紹介します。

参加無料
申込不要

日時 2019年 1月 16日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第109回 わだい浪切サロン

WA DA I NA MI KI RI SA RO N

第110回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

航空会社のサービス価値創造

話題提供者 阪口 葉子 氏
(大阪国際大学 客員教授)

客室乗務員やグランドスタッフは、安全第一を念頭に置き、短時間で最大限のおもてなしの心を表しています。突発事項の発生時には、機転を利かせ解決し、お客様に何度も並んで頂かない便利で安全な仕組み作りは日進月歩です。
世界の空港の搭乗口では、目の虹彩認証で搭乗でき、近年自走式のセルフチェックイン・ロボットがお客様に近づいてきて、お客様の並ぶ時間が軽減されています。おもてなしの心、仕組み作り、テクノロジーの活用がお客様の利便性向上となっています。航空会社が日夜どんなことに努力しているか、また航空業界の楽しい話にも触れていきます。

参加無料
申込不要

日時 2019年 3月 20日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第110回 わだい浪切サロン

まちライブラリーブックフェスタ in関西2018

ウェブペディアアタワンというイベントを知っていますか？
いまや辞書の代わりといってもいいウェブペディア。
地域の情報をオープンデータとして公開し、地域の活性化
につなげていくイベントを岸和田市でも開催します。
自分たちで町の発展を見守り、盛り上げたいと考えて、
それを全世界に広げる活動なのです。

久米田を 編集する。

5月5-6日(土・日)

集合場所

5日：岸和田市立図書館

6日：久米田池遊歩道

(JR久米田駅より徒歩10分。)

定員 15名(定員になり次第受付終了)

持参 ノートパソコン

事前準備

ウェブペディアログインIDを取得してくる

申し込み先 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



まちライブラリーブックフェスタ in 関西 2018

和歌山大学岸和田サテライト友の会夏季講演会

1. 友の会活動報告 14:40~14:50

岸和田市長が25年がでの防災やみほい紙スリッパ
づくりなどのご報告とさらに、ブックフェスタ2018
(マッピング参加)での取り組みをご紹介します。

2018.8.4

場所 岸和田市立浪切ホール
4階研修室1

2. 講演 15:00~16:20

東大阪地域にみる中小企業による キャリア教育支援の実践と 地域社会づくり

～地域中小企業 × 大阪府立布施北高等学校のデュアルシステムの取り組みを事例として～

講師 木下 和紗さん

(1987年岸和田市生まれ・大阪市立大学大学院特任講師)

地域社会を取り巻く問題の少様化、深刻化を背景に、中小企業による地域社会づくりへの貢献に期待が高まっています。しかしこうした動向とは対照的に、中小企業の地域社会に果たす役割に関する学術研究は、とくに日本では理論的・実証的観点から十分には進んでいません。そこで、東大阪地域における中小企業と高校との協働によるデュアルシステムの取り組みを事例に、中小企業による地域社会づくりへの関与の実態、およびそうした関与がもたらす社会的意義を概観したいと思います。また、私自身がこうしたテーマを研究することになった経緯や、当該テーマを研究することのあもろさや難しさ、意義についてもお伝えできればと思います。



3. 後期授業説明会 16:20~16:30

2018年後期に岸和田サテライトで開講する学部開放授業2科目

◆スポーツ老年学◆

◆GISを利用したオープンデータアプリ開発◆

について説明します。

参加無料・申込必要

7月28日(土)迄に、連絡先を明記の上、

下記の連絡先・メールアドレスよりお申込みください。

和歌山大学岸和田サテライト

Fax 072-433-0875 岸和田市港線町1-1浪切ホール2F

e-mail:kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

岸和田サテライト友の会夏季講演会

主催：和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田サテライト友の会

2018年 12月1日(土)

14:30~16:30

岸和田市立浪切ホール

4階 研修室1

ぼうさいカフェ in きしわだ



参加無料
申込必要

9月に岸和田を直撃した台風は泉州地域に大きな被害をもたらしました。

私たちは防災について学び、その情報を市民に発信する活動を行ってきました。今回、その大切さを改めて感じました。電気、水、食料の確保の大切さを感じませんか？太陽光発電をしている家でも、その電気が使えないことを初めて知った方もいたでしょう。保存食に助けられた方もいたでしょう。今度の台風でみなさんは様々な経験をしたと思います。

そこで、この台風での体験を持ち寄り、話し合ってみませんか？身近で体験したこと、対策の必要性を感じたこと、お茶を飲みながら楽しく語り合いたいと思います。「ぼうさいカフェ」へのご参加をお待ちしております。

11月26日(月)迄に、連絡先を明記の上、下記までお申込みください。



和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市港線町1-1浪切ホール2F

Fax 072-433-0875

岸和田サテライト

e-mail:kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



ぼうさいカフェ in きしわだ

平成31年度
和歌山大学 岸和田サテライト
友の会冬季講演会



2/16(土)

14:00~16:15

岸和田市立浪切ホール

4階 研修室1

「地域防災とまちづくり」

◆ 講演 釜石の奇跡 14:00~14:30

防災をテーマとした講談

◆ ぼうさいカフェ 市民防災の取り組み報告 14:30~15:40

◆ 授業報告 15:40~16:00
平成31年度前期開講科目説明会 16:00~16:10

4月~8月に岸和田サテライトで開講する大学院・学部の授業について案内します。



参加無料・申込必要

2月12日(火)迄に、連絡先を明記の上、下記の連絡先・メールアドレスよりお申込みください。

和歌山大学 岸和田サテライト

Tel・Fax 072-433-0875

e-mail:kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



岸和田サテライト友の会冬季講演会

和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2018

(平成 30 年度)

発行日 2019 年 4 月 1 日

発行 国立大学法人和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

TEL&FAX : 072 - 433 - 0875

<http://www.wakayama-u.ac.jp/ki shiwada/>

はじめに

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、2006年4月、岸和田市立浪切ホールに岸和田サテライトを開設しました。岸和田サテライトでは、和歌山大学の学部開放授業（教養科目）・大学院経済学研究科授業および専門研究・公開講座等を開講・実施し、地域のみなさんに高等教育・生涯学習の機会を提供しているほか、地域課題の解決に向けた各種の研究や連携事業を展開しています。

2018年度は、本学と岸和田市との連携の指針となる「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン 2014-2023、同アクションプラン」に沿って、戦略的・計画的な事業運営に取り組みました。このビジョンおよびプランは、本学と岸和田市との連携の目的である4つの「目指す姿」を軸に、それらを実現するための各種事業および組織運営の充実を図るために策定したものです。

岸和田サテライトの各種事業は、自主事業としての活動と、本学の各部局が岸和田市を中心とした大阪府南部（泉州地域）で事業を実施する際の調整・協力等の諸活動からなっています。

本事業報告においては、前者の事業活動に重点をおきつつ、地域における本学の教育研究および連携活動等の概要を、上記の4つの「目指す姿」に沿って報告しています。

今後ともサテライト事業にご支援・ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

2019年4月

和歌山大学岸和田サテライト代表 藤田 和史（経済学部准教授）

事業体系表

(和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類)

目指す姿		事業分類					
I	高等教育機能を 発揮している	1	高等教育事業	1-1	大学授業の開講	1-1-1	高度職業人養成型授業の開講
						1-1-2	地域課題探求型授業の開講
						1-1-3	文化・教養型授業の開講
				1-2	学習環境の充実	1-2-1	学習環境の充実
II	市民の生涯学習活 動をサポートして いる	2	生涯学習機会の 提供	2-1	わだいなぎサロ ンの充実	2-1-1	継続実施と新たな展開
						2-1-2	戦略的な周知活動
				2-2	セミナー等の 開催	2-2-1	セミナー等の開催
						3	地域研究事業
III	地域課題の発見と 解決・大学の知的 資源と住民の交流 をサポートしてい る	4	各種連携	4-1	各種連携	4-1-1	学校教育分野の連携促進
						4-1-2	生涯学習分野・まちづくり分野の 連携促進
						4-1-3	連携ひろば「ワダイ×キシワダ」の運営
				4-2	岸和田サテライ ト友の会への 支援	4-2-1	友の会の活動促進、地域との連携
						5	組織体制・財政
5-1-2	大学の連携体制の強化						
5-1-3	市の連携体制の強化						
5-2	事務局機能の 充実	5-2-1	事務局機能の充実				
5-3	財政運営	5-3-1	持続可能な財政運営の検討				
IV	持続可能な連携組 織となっている	6	事業立地	6-1	事業立地	6-1-1	事業立地の検討

目 次

事業体系表（和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン・同アクションプランに沿った事業分類）

1	高等教育事業	
(1)	学部開放授業	1
(2)	大学院授業	3
(3)	大学院経済学研究科修士課程	4
(4)	学習環境の充実	4
2	生涯学習機会の提供	
(1)	わだい浪切サロン	5
3	地域研究事業	
(1)	GIS活用プログラム	13
(2)	オープンデータの取り組み	13
(3)	主権者教育プログラム	14
4	各種連携	
(1)	学校教育分野	17
(2)	生涯学習・まちづくり分野・産学連携分野	17
(3)	岸和田サテライト友の会の活動支援	17
5	組織体制・事務局機能	
(1)	組織的な連携推進	21
(2)	地域連携コーディネーターの活動	22
(3)	広報活動・各種協力	23
(4)	地域からの問い合わせ対応	24

資料編

目次/A 開講授業データ/B 岸和田市附属機関委員等の就任状況/C 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿
/D 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿/E 連携ひろばワダイ×キシワダ会員名簿
/F 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿/<参考>事業告知チラシ

1 高等教育事業 目指す姿 I : 高等教育機能を発揮している

和歌山大学岸和田サテライトでは、本学が有する高等教育機能を活用して、社会人の学び直し・地域課題の探求やスキルアップなど、大人の学習ニーズに即した学部開放授業（教養科目）と大学院授業（経済学研究科）を開講しています。

2018年度は、学部開放授業4科目と大学院授業8科目を開講し、受講・履修者はのべ109名でした。授業は、土曜日と平日夜間に浪切ホールで開講しています。

(1) 学部開放授業

（「教養の森」センター）

18歳以上の方を対象に、本学「教養の森」センターのサテライト科目を学部開放授業として開講しています。〈地域課題探求型科目〉、〈文化・教養型科目〉の2系統の授業を開講し、社会人と本学の学部生が履修しています。

学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
前期	色彩計画論 〈地域課題探求型科目〉	システム工学部	川 角 典 弘	24 (5)
	文化資源と地域再生 (アゴラセミナーIB) 〈文化・教養型科目〉	教育学部他	菊川 恵三・大橋 直義 (和歌山大学) 西田 正宏・田中 宗博 前川 真行 (大阪府立大学)	41 (26)

(内：学部学生数)

■ 「色彩計画論」

日常生活に欠かせない色彩デザインについて、人間心理・色彩科学・配色計画・空間色彩・デジタルメディアによる色彩といった色彩計画の基礎を学びました。浪切ホール周辺にてスマホアプリを使ったフィールドワークを実施しました。



■ 「文化資源と地域再生」

和歌山県を中心にその周辺地域（泉佐野市や岸和田市等）には、多くの文化資源が残っている。さまざまな文化資源を取り上げ、その内実を知るとともに、その有効性について考察しました。この授業は、和歌山大学と大阪府立大学の協働で実施し、大阪府立大学からも多くの学生が参加しました。



学期	科目名	担当学部	担当教員	受講者数
後期	GIS を利用したオープンデータアプリ開発 <地域課題探求型科目>	システム 工学部	満 田 成 紀 原 祐 二	17 (9)
	スポーツ老年学 <文化・教養型科目>	教育学部	彦 次 佳	15 (5)

(内：学部学生数)

■GIS を利用したオープンデータアプリ開発

GIS（地理情報システム）を利用した地域データの分析方法や、アプリケーションの開発方法を学びました。これらの知識によって、自らがデータ分析やアプリ開発の担い手となり、さまざまな地域活動を支えることができるようになればいいと思いました。



■スポーツ老年学

ヘルススポーツ（健康の維持と改善）、レジャースポーツ（余暇充足・楽しさの追求）、マスターズスポーツ（技を磨き競うことを楽しむ）を紹介し、それぞれの目的・楽しみ方からスポーツが担う役割を論じ、スポーツの持つ可能性と価値を上げながら、成人・中高年期のスポーツプロモーションについて共に考え、議論しました。



(2) 大学院授業

(経済学部研究科)

大学院授業では、経済学研究科による〈高度職業人養成型科目〉、〈地域課題探求型科目〉を開講し、幅広い年代の社会人科目等履修生および大学院生がともに学んでいます。高度職業人養成型科目は、将来の修士課程進学を視野に入れた科目等履修生が多く、地域課題探求型科目の一部は、(大阪市、堺市を除く)大阪府内地方自治体職員の研究研修事業(マッセ OSAKA「地方分権ゼミナール」)としても活用されています。

学期	科目名	担当教員	受講者数
前期	マクロ経済学特殊問題	荒井 信 幸	6 (5)
	会計史特殊問題	三光寺 由実子	11 (8)
	法人税法特殊問題	片山 直 子	4 (3)
	会社法特殊問題	清 弘 正 子	10 (8)

学期	科目名	担当教員	受講者数
後期	租税法実務特殊問題	近畿税理士会	5 (4)
	産業経済地理学特殊問題	藤 田 和 史	6 (3)
	企業会計論特殊問題	山 田 恵 一	10 (8)
	現代中国経済特殊問題	金 澤 孝 彰	8 (5)

(内：大学院生数)



「マクロ経済学特殊問題」(前期)



「産業経済地理学特殊問題」(後期)

(3) 大学院経済学研究科修士課程

2018年度、税理士を目指す院生が岸和田サテライトで租税法の研究指導（平日夜間開講）を受けました。

学期	科目名	担当教員	受講者数
通年	専門研究Ⅰ・Ⅱおよび修士論文	片山直子	5
通年	専門研究Ⅰ・Ⅱおよび修士論文	米村忠司	7

(4) 学習環境の充実

■サテライト図書資料

大学院・学部授業のテキスト・参考文献をはじめ、租税法院生の研究に必要な専門書や大学と地域の連携に関する図書を中心に購入し、蔵書の充実に努めています。2018年度は、購入図書19冊、その他各学部の定期刊行物の受入れ、本学教員の抜き刷り論文、他大学の報告書などを受け入れました。

加えて、大学院生をはじめ配架図書の貸し出しを実施しました。



■サテライト自習室

大学院生、科目等履修生を中心に、2018年4月～2019年3月に46件の利用があり、論文執筆や資料検索等のために自習室が有効に活用されました。



2 生涯学習機会の提供 目指す姿Ⅱ：市民の生涯学習活動をサポートしている

(1) わだい浪切サロン

毎月第3水曜日の夜(2月と8月を除く)、年間10回の“mini 和歌山大学”を開催しています。「わだい浪切サロン」は地域への本学の教育・研究活動のPRの場としての役割を果たすとともに、住民の多様な関心に応える学習と交流の機会として定着しています。

(所属・職名は当時)

回	月日	内 容	話題提供者(所属)	参加数
101	4.18	地域を舞台とした短編映画のこれから	木川 剛志 (観光学部 准教授)	37
102	5.16	後世に伝えたい流行り歌	米山 龍介 (観光学部 教授)	46
103	6.20	「川」って足りてる? ～地域の自然資源を 楽しみながら使う技～	田代 優秋 (COC+推進室 特任助教)	24 ※大雨 警報
104	7.18	発達障害のある人と関わる中で ～大学生の支援を中心に～	森 麻友子 (障がい学生支援部門 講師)	72
105	9.19	食がつなぐあらたな縁	植田 淳子 (食農総合研究所 特任助教)	26
106	10.17	おいしいものは好きですか?	大坪 史人 (岸和田サテライト 地域連携コーディネーター)	31
107	11.21	こどもの視力と眼の健康 ～絵本とクイズで 遊びながら視力検査～	高橋 ひとみ 桃山学院大学 法学部 教育学 教授	41
108	12.19	運動で体脂肪を燃やすテクニック	豊岡 示朗 大阪体育大学 教育学部 教授	54
109	1.16	1回で採血お願いします! ～ベテラン看護師の暗黙知の 可視化と教育支援～	真嶋 由貴恵 大阪府立大学 大学院 人間社会システム科学研究科 現代システム科学専攻	33
110	3.20	航空会社のサービス価値創造	阪口 葉子 大阪国際大学 客員教授	50

年間参加者合計 414名

わだいな浪切サロン」参加者アンケート（感想）から

◆ 第101回「地域を舞台とした短編映画のこれから」

- ・観光学に興味があり、和歌山大学への進学を考えており、受けさせていただきました。お話をきいて、より興味をもち受験勉強を頑張ろうと思いました。とてもおもしろく興味深いお話ありがとうございました。（10代・女性）
- ・ちまたの人達に受ける映画が撮りたいのではなく、地方の人達はその映画を見て、その地方に誇りを持って愛するという意味があるし、そういう映画を撮ることが今の日本には必要だということはとても納得しました。映画が地域の活性化などに通ずるということは、今まで考えもしませんでした。（20代・女性）
- ・福井という街のかつての賑わいや和歌山での映画製作等、今までにあまり聞かない映画の試みを知らせて頂き、興味深い話でした。大変有難うございました（40代・男性）
- ・映画ってあまりみない、ショートフィルムって宣伝しかないと思ってたけど、街の存在、人の存在を残せる tool になるのですね。（50代・女性）



◆ 第102回「後世に伝えたい流行り歌」

- ・今日は S60～S55 年代の曲を聞かせてもらったけれど、改めて日本の曲の歌詞のすばらしさ、情景が目に浮かぶようです。（70代・女性）
- ・大変期待し自ら受講させていただきました。素晴らしい講義でした。途中までしか聞けなかったもので、もう一度、いやもう二度でも続講を聞きたいです。有難うございました。（是非実現させて下さい。）（70代・男性）
- ・歌謡曲をきいて育った世代なので、とてもなつかしい気持ちで聴きました。もっとたくさん曲を聴きたかったです！！ ありがとうございました。（50代・女性）
- ・時代とともに伝えた流行歌、仕事疲れのころがあたたかくなりました。日本の流行り歌楽しませてもらいました。（50代・女性）



◆ 第103回「川」って足りてる？～地域の自然資源を楽しみながら使う技～

- ・「プール」と聞くと、人工的な施設で、消毒された水が入ったものというイメージしかありませんでしたが、今日のお話のテーマであったように、自然を生かした河川プールがあるなんて知りませ

んでした。あまり泳げない人でも楽しめそうなので、素晴らしいなと思いました。(20代・女性)

・河川のプールを作るという考えとても興味をもちました。自然と共生の一つとしてとても良い利用方法ですね。

(60代・男性)

・公共財としての河川の利用として、水辺や水源の管理の大切さと共にもっと有効利用できる方策をもっと広く考えるべきだと思う。大切な指摘だと考えています。

(70代・男性)



◆ 第104回「発達障害のある人と関わる中で」

・和大での取りくみを聞きたいと思ったので、最後に紹介していただけで良かったです。後半部分をさらに詳しく聞きたかったです。(30代・女性)

・発達障害の特性・大学の取組がよく分かりました。個別の学生さんへの支援は大変だと思いますが、学生さんの将来につながる、大切な取り組みだと思います。(40代・女性)

・小学校の教員をしています。私が接する子供達その後どのように育っていくのかということを考えながら話を聞かせていただきました。高等教育の中ですごすのは、小学校時代とは違ってもっと高度な人間関係が必要なのだろうと気づきました。その中で育っていくことができる社会になるように私自身も考えていきたいと思います。(40代・男性)

・保育士として関わっていた子どもたちが、障害をもっているとその後どういった支援を受けていけるのか学ぶ機会がないので、とても勉強になりました。参加して良かったです。ありがとうございました。(40代・女性)

・大学生の娘がいる母親です。娘がこまっている、又親としてこまっている生活面、学校面での対策の仕方が少しですが、聞いたように思います。今日、教えて頂いたことを1つでも娘の立場にたって、考えられるようにしたいです。(40代・女性)

・大変興味深い内容で、もっと広く深く話を聞きたいと思いました。支援の前段階において、学生自身がまず特性に気づくこと、また受け入れることがなかなか難しそうだなと感じました。今日の知識も踏まえて、自身でも障害や学生支援について学んでみようと思います。ありがとうございました。(30代・女性)



◆ 第105回「食がつなぐあらたな縁」

・食べることは生きることに直接つながっていき、又一緒に作り食べることの大切さ、それによって縁をつなぎ、人と人をつなぐ「知り合い」に育てるように感じたので、これからも大切にしていこうと思いました。(60代 女性)

・人と地域の縁について、わかりやすく説明や自分で考えるための導入があり、良かったです。

(10代 男性)

・先生のお話わかりやすく、参加者が真剣に考え作業を通して他の方々とも関わりを持てるように工夫されていた。関心のある内容だったので興味をもって講義をきいていた。(60代 女性)

・話し合い形式で話題交換をしていくのはなかなか最初のうちは難しかったが、なじんできてよかったと思う。「縁」というキーワードでこの話題はこれからの地域振興に新しい視点だと思う。(40代：男性)



◆ 第106回「おいしいものは好きですか？」

・直売所の取組みについて、わかりやすく教えていただきました。直売所の役割の一つに、都会とは離れた農村部や山間部に居住している方たちの食生活を支えていることを初めて知りました。直売所の良さや特色だけでなく、課題面についてもストレートにお話していただけたので、大変勉強になりました。(20代：女性)

・食品の流通について、知らなかったことばかりで勉強になりました。観光ではない地域内のインフラとしての 機能を持つ、直売所の可能性を知りました。(女性)

・平易な言葉で理解しやすく説明されていたのと資料が見易かった。(50代：男性)

・日本の農業の様子を少し勉強しました。今後の農業政策を注目したいと思います。(70代：男性)

・浪切サロンで、農業や食物の話題はあまりなかったように思いました。新鮮でした。農産物の流通のこと、魚との流通の遅いもわかりよかったです。また、給食、米、自給率など話題が豊富で考えさせられること多かったです。高齢化、過疎化、産直売所に生産者がもってくるが大変になってきている、買い物に行くこともしんどくなっていること、考えさせること多かったです。(60代：女性)



◆ 第107回「こどもの視力と眼の健康」 ～絵本とクイズで遊びながら視力検査～

- ・非常に面白く、ためになりました。子供たちの弱視、普段意識していない事を気付けたので、意義を感じました。(30代：男性)
- ・本日はありがとうございました。今日聞いたことを、1人で多くの人に伝えていきたいと思えます。子供が楽しそうに視力検査をしている姿が印象深かったです。(40代：女性)
- ・講演ありがとうございました。3才の視力検査の重要性がとてもわかるお話しでした。3才児は検査が難しいお子さんもあるので今日聞いたことを参考に工夫して検査したいと思えます。ありがとうございました。

(40代：女性)

- ・今まであまり知らなかった本日のテーマのことを知らせて頂き、大変有難うございます。大人にも応用が利くということも知り面白かったです。(40代：男性)



◆ 第108回「運動で体脂肪を燃やすテクニック」

- ・脂肪代謝の仕組みの実験値をもとに教えて頂き、参考になりました。実際の運動の仕方の指示を頂きよかったです。(60代：女性)
- ・食べることは簡単ですが、筋力を付け脂肪を落とす事が大変である事が理解出来ました。効率の良い運動を行う事で効果が出やすい事がわかりました。(60代：女性)
- ・わかりやすい説明で今後生活の中に運動を取り入れたいと思えます。(70代：女性)



- ・体脂肪を落とす効果的な方法を教わった。あとは実行のみ！(70代：男性)

◆ 第109回「1回で採血お願いします！」～ベテラン看護師の暗黙知の可視化と教育支援～

- ・今、まさに看護技術を教える立場の者です。今日の学びを参考に技術演習を考えていきたいと思えます。(50代：女性)
- ・看護技術のスキル化という新しい方向を知ることができて面白かった。(70代：男性)
- ・「技」があれば本当に助かるなと思えました。真嶋先生のように研究されている方がいてくれて、ありがたいです。(女性)

-
- ・採血を1回で！という難しい課題・興味のある課題を提供して頂き有難うございます。可視化の難しさ、有効性を確かめられました。これからも研究を続けて頂けるようお願いしたいと思いません。(60代：女性)
 - ・日頃の仕事、家事、生活の中で“暗黙知”の事がたくさんあるが、客観的に見たり、視点があまり意識してなかったなあと。特に仕事に関し。部下や新人育成が大事になってくる中、具体的に数値化、言語化する事が大事だなあと思いました。(女性)
 - ・自分自身が3週間毎に採血・点滴をしているので大変になりました。ただ、今までは無意識に看護師の方を信頼し、まかせていましたが、逆に少し怖くなりました。(60代：男性)
 - ・データで見ると言語化できないものも、知識としてはとりいれることができるので良いとおもった。(10代：女性)
 - ・ただ、「技術はやらないとできなくなっていく」というまとめは明解で解りやすかったです。折角アンケート機器を備えていたのでアンケートをもっと取って頂ければよかったのにと思いました。(40代：男性)
 - ・看護師とは全く異なる職についているが、参考になる部分が多かった。様々な分野の知識をもっと学びたいと感じた。また、努力したくても努力の方法が分からない人が増えている。そんな中、自己学習しやすい学習支援システムは今後より一層必要になると思います。(30代：男性)
 - ・全く知る機会がなかった内容だったのでおもしろかったです。こういう研究をみるとAI・ロボットが採血する時代も近そうだなあと感じました。(40代：女性)



◆ 第110回「航空会社のサービス価値創造」

- ・中学生にもわかりやすい内容だった。知らないことがたくさんあって、興味深いことばかりだった。(乗客用の機体の中にも貨物が入っているなど) 韓国の案内ロボットもおもしろかった。(10代：男性)
- ・航空会社の取り組みについて理解し易く講談していただいたので、参考になる点が多くあった。(50代：男性)
- ・航空会社のみではなく、その他の業種にも役立つ情報(しくみ)だと思いました。(30代：女性)
- ・元CAさんのお話をきけておもしろかったです。ありがとうございました。(30代：女性)

-
- ・ 久しく「航空機」を利用したことが無く、最近の「航空機」運搬会社や技術革新サービスの最近の状況等話題として提供して頂いて良かった。(60代：男性)
 - ・ お客様に対するサービスの向上・日常業務の中で気づいていなかった事がたくさん見えてきました。“どこよりも早く変わる”に毎日チャレンジしているのですが、とても参考になりました。本当にありがとうございました。(40代：男性)
 - ・ 飛行機に乗りたくなりました!!阪口さんチーフパーサーの!!サービスとは何か!を知りました!ありがとうございます!“機転”“権威委譲”(40代：男性)
 - ・ 航空会社が常に進歩を探求していることが解り、日常生活をする上でも参考になりました。(50代：男性)
 - ・ 知らないことを色々お教えくださりありがとうございました。お話も上手です。(80代：男性)
 - ・ わかりやすい解説説明で大変良かったです。(70代：男性)
 - ・ 飛行機のことを色々わかりました。受付するのに動くロボットがおもしろいなと思いました。(40代：男性)
 - ・ 貴重な話を聞かせていただき、ありがたかった(60代：男性)
 - ・ 航空会社の歴史について、意外と知らなかったので興味深かったです。CAさんおススメの観光地やお土産を知りたかったかな…(40代：女性)
 - ・ CAの仕事がよくわかった(60代：男性)
 - ・ 大好きな航空業界の話をCA・GSを経験された方から聞いて楽しかったです。また、実際に阪口先生が経験されたことも盛りこんで生の声を聞いて面白かったです。もっともっとお話をお伺いしたかったです。時間がたつのがあっというまでした。第2弾をやってほしいくらい満足した会でした。(20代：女性)
 - ・ 今日輝かしい講話を聞かせて頂き有難うございました。きれいな阪口先生井のお若いときの写真を見ることが出来、直接お目にかかれて嬉しかったです。私は1歳のときからの夢、ロサンゼルスで働くことが夢です。先生のお話からヒントを得たいので、下のメールアドレスにメール下さい。(30代：女性)
 - ・ 旅に行きたくなりました。関空に行くだけでもうれしいですね。
 - ・ 講義内容は総じて一般的であったが、知らないことも多々あった。(70代：男性)

-
- ・ 航空会社、CA の裏話等面白く聴けました (70 代 : 男性)
 - ・ ヒコーキは安全第一だということを改めて、聞かせてもらって安心しました。(60 代 : 男性)
 - ・ みなさん聞きにこられた方々の興味深く講義を聞かれていることだなあと感銘しました。多くの方がご意見、御質問されているところもこの講義がすごくみなさんに興味深く移っている証ですね。(50 代 : 男性)
 - ・ 楽しかったです。素敵なお話を聞いて良かったです。(50 代 : 男性)
 - ・ 航空会社のサービス向上に対する姿勢がうかがえて興味深かったです。修士論文で研究された北米路線の維持・発展に向けた背作についてのお話をお伺いしたかったです。(ドル箱路線のようなイメージがありました) (40 代 : 女性)
 - ・ この数年飛行機に乗っていないので、IT や、いろいろなサービスの話が聞いて良かったです！(60 代 : 男性)
 - ・ 降雨空会社のサービスをわかりやすく、親しみやすく例を示していただきながら、の楽しいお話でした。これを機に飛行機を利用して旅行に行く方がさらに増加してほしいですし、できれば空港、航空会社に魅力を感じて働かれる方も増えればいいなと思います。(40 代 : 女性)
 - ・ 大変わかり易いお話であつという間でした (50 代 : 女性)
 - ・ 者作りの内側 (内情) とか・職人技・跡取りの少ない職種とか・伝統芸能・女性の社会進出・男女平等 (30 代 : 女性)
 - ・ 地域の歴史や、鉄道の話のマニアックに聞けるとおもしろいです。(30 代 : 女性)
 - ・ 今後の大阪・子ども子育て・老人化社会 (40 代 : 男性)
 - ・ 「自然科学部門」のテーマを希望いたします。(70 代 : 男性)
 - ・ 原子力発電所について…廃炉のやり方等・キャッシュレスな生活について…本当に日本で必要なのか？災害時には不便 (40 代 : 女性)
 - ・ みんなで夢を語り合って、アドバイスをし合う機会を設けて下さったら、全員が確実に夢への進歩ができるいい機会になると思います。航空会社についての講話の機会もっと増やしてほしいです。(30 代 : 女性)



3 地域研究事業

目指す姿Ⅲ：地域課題の解決と大学の知的資源と住民の交流をサポートしている

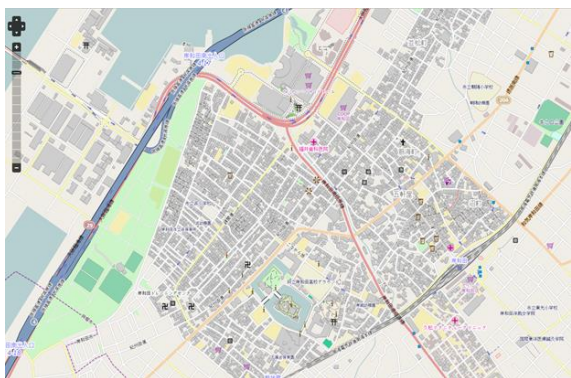
高等教育事業（学部開放授業・大学院授業）や生涯学習事業「わだい浪切サロン」等では必ずしも対応が十分にはできない地域課題の解決支援と住民参加型事業の構築を目的とする地域課題研究型プログラムを2012年度から実施しています。

（1）GIS活用プログラム

サテライト友の会のメンバーが、2015年度後期に開講した学部開放授業「地図で地域をみる発信する」を受講し、地図を地域活動に活用できることを学んだことをきっかけに、地図を使った地域づくり・まちづくりにつながることを目指した取り組みです。

友の会メンバーが主体となってマッピング実行委員会を設立し、府立岸和田高等学校とも連携し、まち歩きやマッピングを進めました。

また、2016年度末に、マッピング実行委員会は発展的解消を遂げ、オープンデータ・GISを利用した取り組みを進める自主学習グループが2017年4月からスタートし、月一回程度泉州地域において、マッピングパーティを行なってきました。（左下写真：整備した岸和田市街地マップ）



（2）オープンデータの取り組み

誰でも自由に使える「オープンデータ」を使ったり作ったり考えたりする世界同時開催のお祭り「インターナショナル・オープンデータ・デイ」(IODD)に参加し、「オープンデータソン」を開催しました。前回に引き続き、地域情報を市民が自らまちに出て歩き、情報を採取し、採取した情報をデータ化したり、ネット上の地図に反映させたりすることを目的にした取り組みです。

OpenStreetMapなどのツールを用いて、情報をマッピング有志の団体の協力を得ながら、自分たちでも探し出して、オープン化することを目指しました。

■岸和田オープンデータソン 2019

○開催 3月2日(土) 9:30~12:00

○場所 泉大津市立北公民館

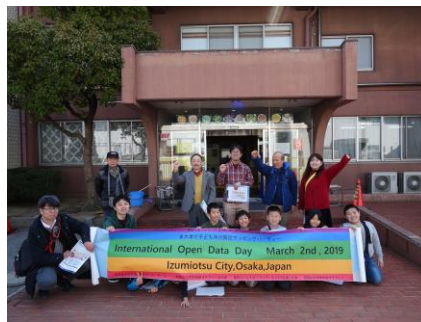
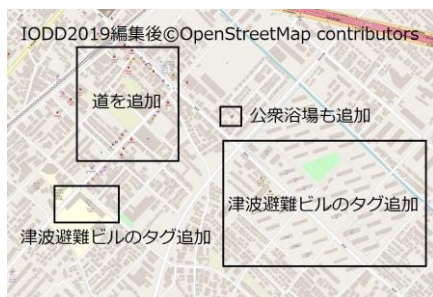
和歌山大学岸和田サテライトと友の会が、泉州らへんでオープンデータとGISを楽しむ会及び泉大津市立北公民館サポーターチームと協力し、泉大津市北公民館付近を津波避難ビルやその経路のマッピングをおこないました。(左下はオープンデータソン後整備されたOpenStreetMap)

オリエンテーション 満田成紀 システム工学部准教授

○参加者 12名

○主催 和歌山大学岸和田サテライト・

○協力 岸和田サテライト友の会、泉州らへんでオープンデータとGISを楽しむ会
泉大津市立北公民館サポーターチーム



(3) 主権者教育プログラム

国民主権と選挙制！ ～こうして政治は私たちのものになった～

2019年の参議員選挙と地方統一選挙にあわせ、国会、選挙の仕組みを参加高校生に和歌山大学の学生が説明を行いました。

説明後、グループに分かれ大学生をファシリテーターとして、高校生の身近な不満や問題を政治的に考えさせ、グループごとにポスター発表を行いました。

【企画会議】

○開催 1月23日(月)

コーディネーターを中心とし、経済学部・観光学部・システム工学部の学生、教育学部大学院生より意見を聞き高校生の参加者を増やせる内容を加え企画しました。

■プログラムの概要

○開催 2月11日(日) 13:00~16:00

講師 和歌山大学 経済学部・観光学部・システム工学部・教育学部大学院生

協力 岸和田市、大阪府立岸和田高等学校、岸和田市立産業高校

【周知案内】

岸和田市内の府立高等学校3校(岸和田・和泉・久米田)、岸和田市立産業高等学校並びに、近大泉州高等学校を訪問し、趣旨説明と案内を行いました。

【構成】

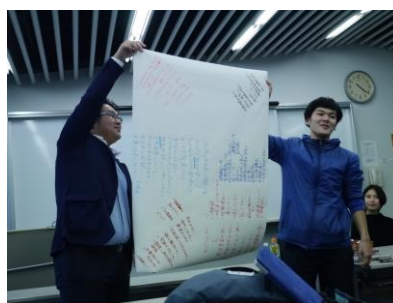
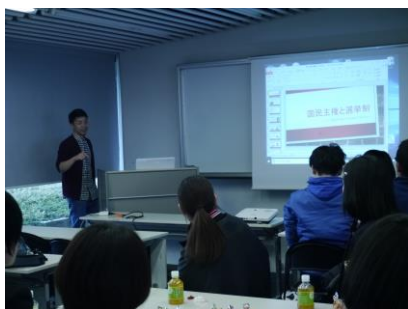
第1部 和大学生が語るワダイライフ&大学体験ワークショップ

- ・和歌山大学4学部の学生が学部紹介を担当(40分)
- ・高校生と学生のフリートークを実施(40分)



第2部 模擬授業「国民主権と選挙制！」～こうして政治は私たちのものになった～(90分)

- ・模擬授業を受け、学生をファシリテーターとして自分たちの身近な問題や不満を出し合う
- ・それを具体的な政治課題として考え合いまとめる
- ・グループごとに発表する



第3部 意見交換

- ・引率教員からの意見と感想
- ・岸和田サテライト代表の総評

【参加者の感想】

高校の授業では、選挙の方法や手続きの説明が主なので、今回のプログラムは選挙の内容が解りやすかった。

【岸和田サテライト代表の総評】

身近なささいな思いや疑問から学びを深めることができるよう、和歌山大学及び岸和田サテライトは今後も貢献できるよう努めて参ります。



4 各種連携

目指す姿Ⅲ：地域課題の解決・大学の知的資源と住民の知的交流をサポートしている

(1) 学校教育分野

■和歌山大学学生と高校生の交流

○開催 2月11日(日) 13:00~16:00

和歌山大学の学生が、高校生に和歌山大学の学部紹介として学びの分野は卒業後の進路などを説明しました。説明後、高校生とのフリートークを設け交流を図りました。高校生の身近な問題や疑問を出し合い、それを高校生とともに政治的課題として考え発表しました。

(2) 生涯学習分野・まちづくり分野・産学連携分野

■まちライブラリー ブックフェスタ 2018 in 関西

○開催 5月5日(土)・6日(日)

地域の情報をオープンデータとして公開し、地域の活性化につなげていくイベントに参加しました。

5日(土)は、久米田池、久米田寺、久米田古墳群を歩き情報を収集しました。

6日(日)は、まち歩きをし、得た情報を編集し成果を発表しました。



(3) 岸和田サテライト友の会の活動支援

岸和田サテライト友の会は、受講者(授業・「わだい浪切サロン」)の同窓会的組織です。今年度は、友の会の主催による「夏季講演会」、「冬季講演会」について企画・運営・支援等を行いました。

■第41回岸和田市民フェスティバル(協力:岸和田市立図書館)

岸和田サテライト友の会と岸和田サテライトが協力して出展している市民フェスティバル。今年度は「忘れない!備えよう大地震!」をテーマに、身近な防災の展示・実演コーナーを設けました。また、岸和田市立図書館の協力を得て、防災のための紙しばいの読み聞かせを行いました。子育てが楽しくなるまちをつくろう」という思いを持ったママたち 岸和田 Mammy's サポーター

一と共同で展示・説明・実演を行い、たくさんのお子さんや家族連れが参加しました。

○開催 5月3日(祝)(岸和田市中央公園)

○内容 「忘れない! 備えよう大地震!」

体験: 災害時に使える「新聞紙スリッパ」・「キッチンペーパーマスク」の作り方

実演: 紙芝居「いなむらの火」・「台風がきたぞ」

展示: 防災関連グッズ・防災関連図書

紹介: 岸和田 Mammy's サポーターの活動情報誌 “きし♡ふぁみ Vol.1” の配布を支援しました。

○参加者 約400名



■総会・夏季講演会

○開催 8月4日(土) 14時20分～16時30分(浪切ホール研修室)

○講演 「東大阪地域にみる中小企業によるキャリア教育支援の実践と地域社会づくり

～地域中小企業×大阪府立布施北高等学校のデュアルシステムの実践を事例として～

○参加

地域社会を取り巻く問題の多様化、深刻化を背景に、中小企業による地域社会づくりへの貢献に期待が高まっています。しかしこうした動向とは対照的に、中小企業の地域社会に果たす役割に関する学術研究は、日本において皆無であり、その実態は明らかになっていません。そこで、東大阪地域における中小企業と高校との協働によるデュアルシステム(実践的な現場教育)の取組みを事例に、中小企業による地域社会づくりへの関与の実態、およびそうした関与が有する複合的意義を概観しました。また、講師がこうしたテーマを研究することになった経緯や、当該テーマを研究することのおもしろさや難しさ、意義について説明がありました。



■市民活動ステーション「コラボラ」へ参加

○開催 7月28日(土) 13:00~16:00 場所 岸和田福祉センター

○内容

岸和田サテライト友の会&岸和田サテライトが出展いたしました。
大学と地域をつなぎ地元の活性化に協力しようと会長を中心に活動しました。



■ぼうさいカフェ

○開催 12月1日(土) 14時30分~16時30分(浪切ホール研修室)

○内容 2018年9月4日、台風21号が近畿地方を直撃し、大規模停電が発生し泉州地域に大きな被害をもたらしました。

友の会は、防災で学んだ情報をかねてより発信してきました。

台風21号の被害を振り返り、水や電気、食料の備蓄などで困った体験を話し合い、防災対策の必要性を確認しました。また、世代や年齢、家族構成、健康面など、各家庭により備え方が異なることなどが、カフェ方式にすることで情報の交換ができました。

ここからKit with きしふあみ のみなさんからは、100円均一で買える防災グッズ、防災リュックなど、若いお母さん方の防災用品を展示、紹介に加え岸和田市社会福祉協議会の協力を得て、他世代の方々と交流ができました。



■冬季講演会

○開催 2月16日(土) 14時～16時10分

○内容

第1部 講演「釜石の奇跡」 話し手 旭堂 南舟 氏

講演氏を招き、東日本大震災の際、釜石市立釜石東中学校と鶴住居(うのすまい)小学校の児童・生徒、約570名が大津波から自分たちの命を守った奇跡を聞きました。

日頃から積み重ねられてきた防災教育が、実を結んだ講演でした。

第2部 ぼうさいカフェによる市民防災の取り組み報告 発表者 鱧谷会長

12月に実施したぼうさいカフェでは、参加者から様々な意見が聞けました。

災害時の自助への備えの重要性を改めて説明し、防災意識を高める活動をしました。

第3部 授業報告「GISを利用したオープンデータアプリ開発」 発表者 楠本幹事

学部開放授業の受講生の自主学習グループの学習成果を発表しました。

友の会の活動や、地域貢献の報告も合わせて行いました。



■岸和田シティプロモーション推進協議会 公開定例会への参加

○開催 2月27日(水) 18時30分～21時30分

○内容 2018年9月4日、台風21号の直撃の際の困った体験を語り合い、地域で「命」と「暮らし」を救う、守る知恵やアイデアを出し合う取り組みに、岸和田サテライト友の会の鱧谷会長が講師として招かれました。

停電時に会長が自宅で活用したソーラー発電装置の紹介を行いました。

■友の会幹事会

今年度は、台風21号の被災で、防災意識がより高まり、多くの取り組みを行いました。岸和田市民フェスティバルでの啓発活動や、ぼうさいカフェ、冬季講演会、他のボランティア団体からの要請を受け、講師として啓発活動に取り組みました。

活動の企画にあたっては、友の会幹事会を8回開き企画・運営し活発な活動を行いました。

5 組織体制・事務局機能 目指す姿Ⅳ：持続可能な連携組織となっている

(1) 組織的な連携推進

■地域連携戦略ビジョン・アクションプランに基づく事業実施

2014年度、和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会において、「和歌山大学・岸和田市地域連携戦略ビジョン（2014-2023）」が承認されました。

2018年度の地域連携事業については、このビジョンに示す連携の4つの「目指す姿」の達成のために、前年度末に評価シートを用いて検証をおこない、各事業項目についての定量的・定性的評価により抽出した課題を「地域連携アクションプラン（2017-2019）」へ反映させました。



■第21回和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会

4月24日、瀧 寛和 和歌山大学長、永野 耕平 岸和田市長をはじめとする会員の出席により、今年度の協議会を開催しました。2017年度事業報告、2018年度事業方針および事業計画案の承認に続いて、大学と市の連携事業全般についての意見交換がおこなわれました。（岸和田市役所）

■和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会

地域連携推進協議会のもと、連携事業の企画・運営・調整を担う企画運営委員会を、2018年度は4回開催しました。

- 第1回 2018年4月16日（岸和田市）
- 第2回 2018年7月20日（和歌山大学）
- 第3回 2018年10月1日（岸和田市）
- 第4回 2018年3月15日（和歌山大学）

■調整会議

和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会のもと、大学と市の日常的な情報交換と地域連携業務の調整を図るため、月例で担当者レベルの調整会議を実施しています。

■岸和田市協働推進チーム会議

岸和田市自治振興課、政策企画課、生涯学習課、岸和田市ボランティアセンターなどの担当者とともに、情報交換、地域の課題共有、各種事業の調整などの月例会議に参加しました。

(2) 地域連携コーディネーターの活動

■ブックフェスタ実行委員会

岸和田まちライブラリーの実現に向け、春・秋のブックフェスタの企画および実施を行いました。(ブックフェスタ開催日 2018年5月5～6日、12月2日)

■長岡造形大学・新潟青陵大学・新潟青陵短期大学・新潟薬科大学の4校合同開催のサテライトキャンパスサミットへの参加

COC+の取り組みの紹介、地域や学生の意見を聞きながら運営していくマーケットインの視点で運営、セメスター制を導入し、1セメスターを丸々、地域での活動に充てている事例、郊外に立地する大学の都市部のサテライトの活用事例など4校の報告を聞きました。(2018年7月10日)

■食農総合研究所との連携

沖縄やんばるにおける共同売店の調査を行いました。(2018年7月5～7日) また、地域農林経済学会近畿支部大会を誘致し、波切ホールにて開催し、JA いずみの関係者等にも参加いただきました。(2018年7月28日)

■近隣大学および研究機関との連携

大阪府立大学、桃山学院大学、大阪体育大学、近畿職業能力開発校などに訪問し、波切サロン等での連携について意見交換を行いました。

■「地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー」への参加

大学の地域連携にかかわる業務を担当する教職員の情報交換を目的として、本学主催の合宿形式のセミナーを高知大学で行い、事務局として携わりました。(2018年9月12日～15日)

■岸和田子ども食堂への学生との連携参加

NPO法人ここからkitが主催する参加型の子ども食堂に学生サークルと共同で参加しました。(2018年10月～2019年3月)

■アグリカルチャーコンペティションでの受賞

大学生による食・農・地域・JA等に関する研究発表大会「アグリカルチャーコンペティション」に援農サークル agrico.と参加し、審査員特別賞を受賞しました。

(3) 広報活動・各種協力

■ウェブサイト、Facebook ページの運営

岸和田サテライトウェブサイト・ブログ・Facebook ページにおいて、各種事業の開催案内や実施後の記録公開など、速やかな情報発信に努めました。

■メールマガジンの発行

岸和田サテライトに関する催しのご案内やピックアップを紹介しています。

■岸和田サテライトリーフレット

岸和田サテライトの機能、業務をコンパクトに紹介しています。



■岸和田商工会議所『きしわだ所報』連載

本学教員の連載コラムを掲載しました。

「おいしいものは好きですか」

大坪 史人 域連携コーディネーター

(2018年4月号～2018年9月号)



「くらしとゴミ」

金子 泰純 和歌山大学システム工学部 教授/COC+推進室長

(2018年10月号～2019年3月号)



■浪切ホール『ナミトモ』

浪切ホール広報リーフレットに「わだいなみサロン」をはじめとする岸和田サテライト事業の案内を掲載しています。

(4) 地域からの問い合わせ対応

2018年4月～2019年3月、電話、電子メール、訪問などによる約150件の問合せ・相談がサテライトオフィスに寄せられました。各問合せ・相談に対して、回答、資料送付、本学各担当部署への照会などをおこない、速やかに対応しました。

<主な内容>

- ・本学教員への指導・助言などの要請
- ・本学学生への地域活動などの参加要請
- ・サテライト開講授業（募集要項、開講内容、大学院への進学など）について
- ・サテライトや学内の事業（「わだいなみサロン」、各種セミナーなど）について
- ・サテライトの業務内容、業務時間などについて
- ・本学の入試（大学案内、一般・推薦・社会人入試など）について
- ・教員免許状更新講習について
- ・その他（本学の教育内容など）

資料編

目次 (2018年度)

A	開講授業データ	26
B	岸和田市附属機関委員等の就任状況	36
C	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿	37
D	和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿	37
E	連携ひろばワダイ×キシワダ会員名簿	37
F	和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿	38

<参考>事業告知チラシ

資料 A 開講授業データ

2018 年度 学部開放授業

【前期開講科目】

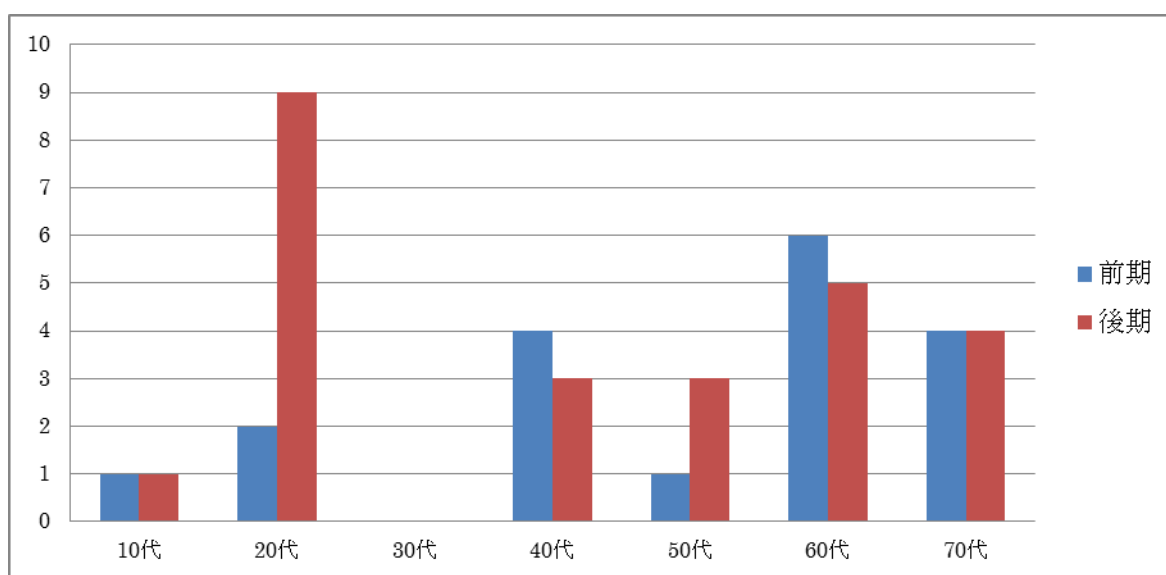
- ・色彩計画論
- ・文化資源と地域再生（アゴラセミナー I B）

【後期開講科目】

- ・GIS を利用したオープンデータアプリ開発
- ・スポーツ老年学

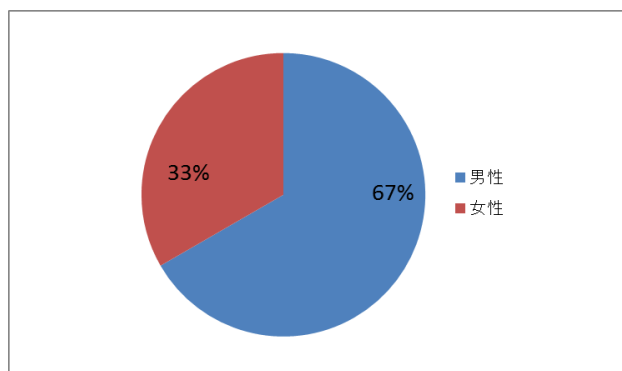
※アンケート回答数 43（内訳：学部開放授業受講者 31 学部生 12 回収率：100%）
文化資源と地域再生（アゴラセミナー I B）に関しては未実施

(1) 受講者の年齢（n=18）（学部開放授業受講者・学部生アンケート回答者）

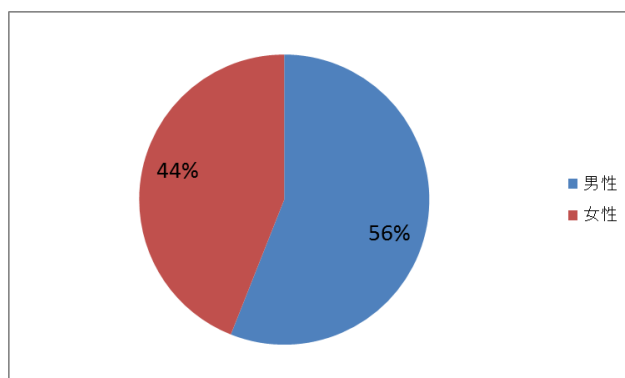


(2) 履修・受講者の男女比(学部開放授業受講者・学部生全員)

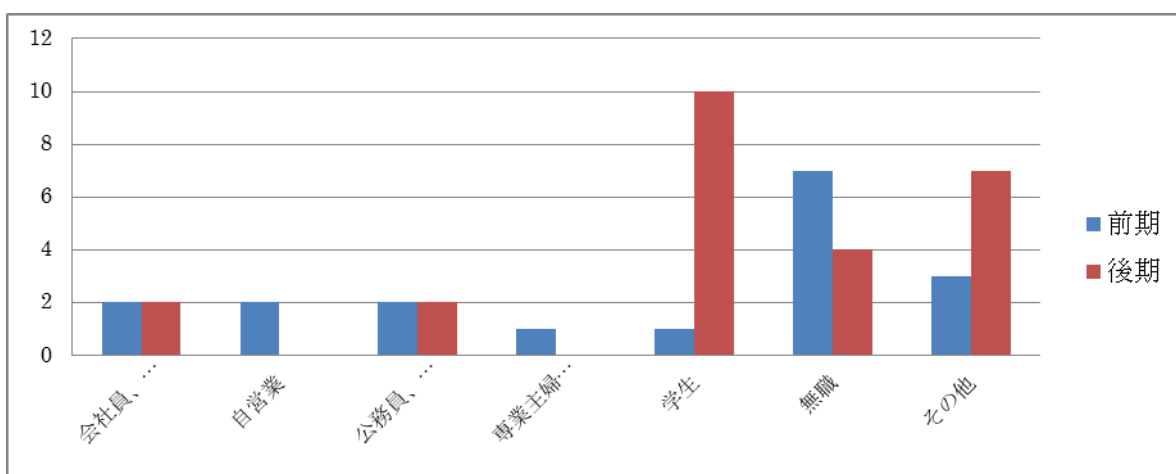
前期 (n=18)



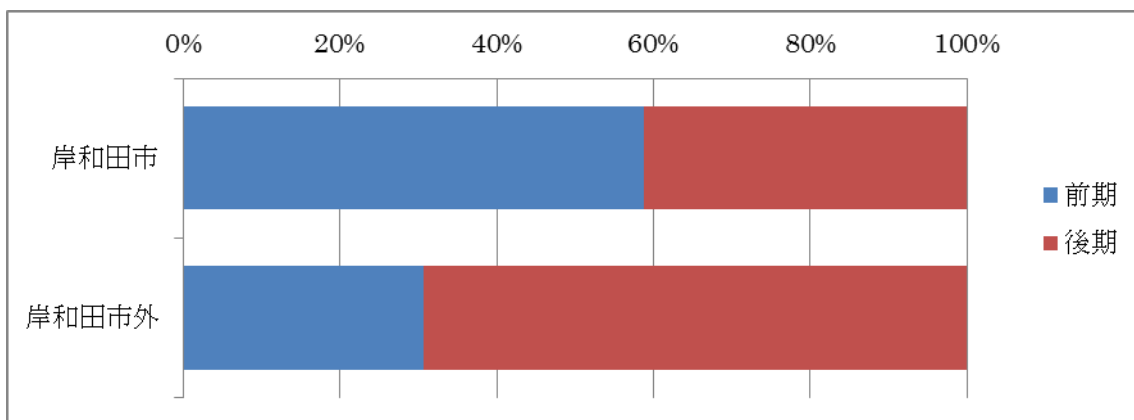
後期 (n=25)



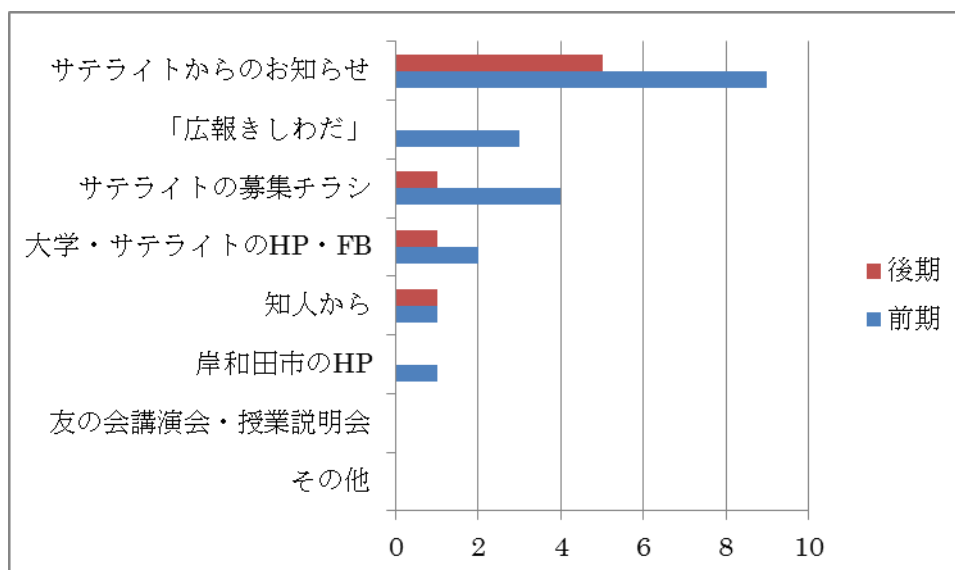
(3) 受講者の職業 (n=16) (学部開放授業受講者アンケート回答者)



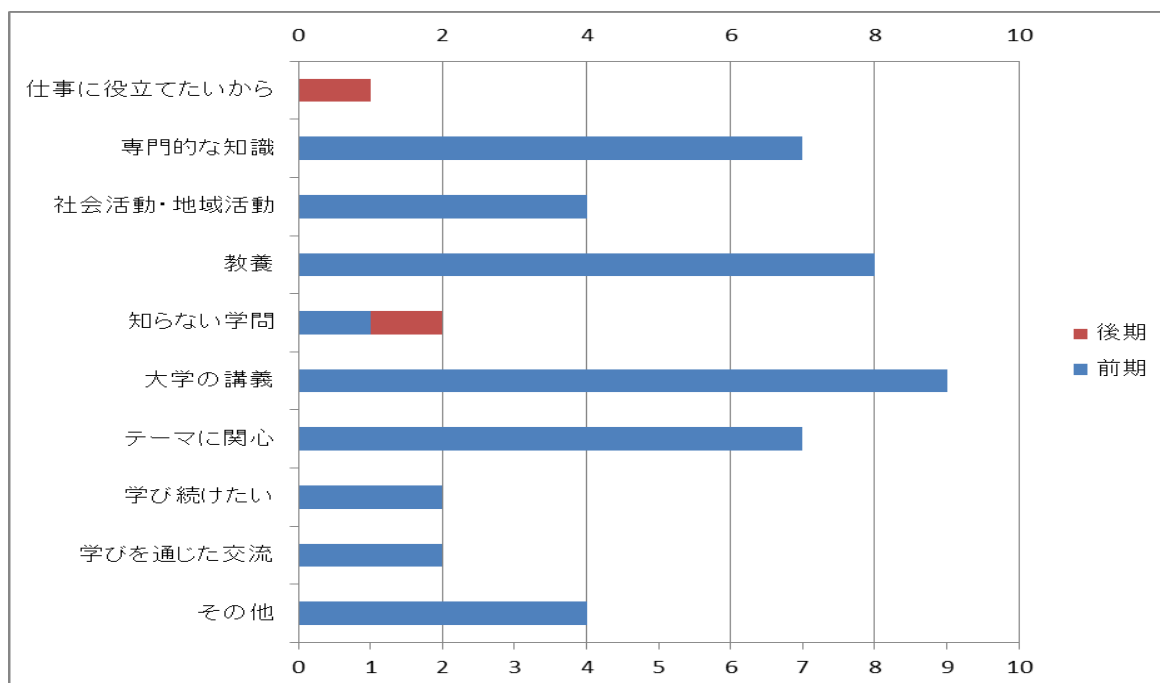
(4) 受講者の居住地 (n=54) (学部開放授業受講者アンケート回答者)



(5) 当該授業の開講を知った手段 (n=23) (学部開放授業受講者アンケート回答者)



(6) 当該授業の受講動機 (学部開放授業受講者アンケート回答者) (複数回答)



専門的な知識…専門的な知識を得たいから
 教養…教養を高めたいから
 大学の講義…大学の講義を受けたいから

社会・地域活動…社会や地域の活動に役立てたいから
 知らない学問…知らない学問分野を学びたいから

(7) 授業についての自由記述 (一部)

色彩計画論

- ・非常に興味深い内容でしたが、実際よくのみ込めるのに時間がかかりそうなので、できれば次回のイベントや授業があればよいと思う。
- ・次回は具体的に色彩計画に取り組めたらよいのにと感じている。
- ・身のまわりにある色に興味をもつようになりました。心理と色の関係など楽しい講義をありがとうございました。またデザインを学べる機会があることを楽しみにしています。
- ・色彩に関する知識を持ち合わせていなかったが、今回の講座で基礎知識を得ることが出来て有意義であった。
- ・具体的でわかりやすく、楽しかったです。今後に活かします。
- ・実際に講義を受けてみて、大学の難しい授業を受けられて楽しかったです。

GIS を利用したオープンデータアプリ開発

- ・ちょっと難しかったので、復習が必須なのにできなくて毎回大変でしたが、サポートしてもらって何とかゴールできました。
- ・満田先生のスライドは安定して分かりやすかったです。
- ・PC の操作スキル及び全体の知識不足によりついていけなかった。どの様な内容のものが諮問できるか等の方向性や出来る範囲を知り得たことは収穫でした。

スポーツ老年学

- ・スポーツの知らない世界が知れてよかったです。マスターズやボランティアなど、新しい楽しみ方がわかったので、いろいろ挑戦していきたいです。ありがとうございました。

2018 年度 大学院授業

【前期開講科目】

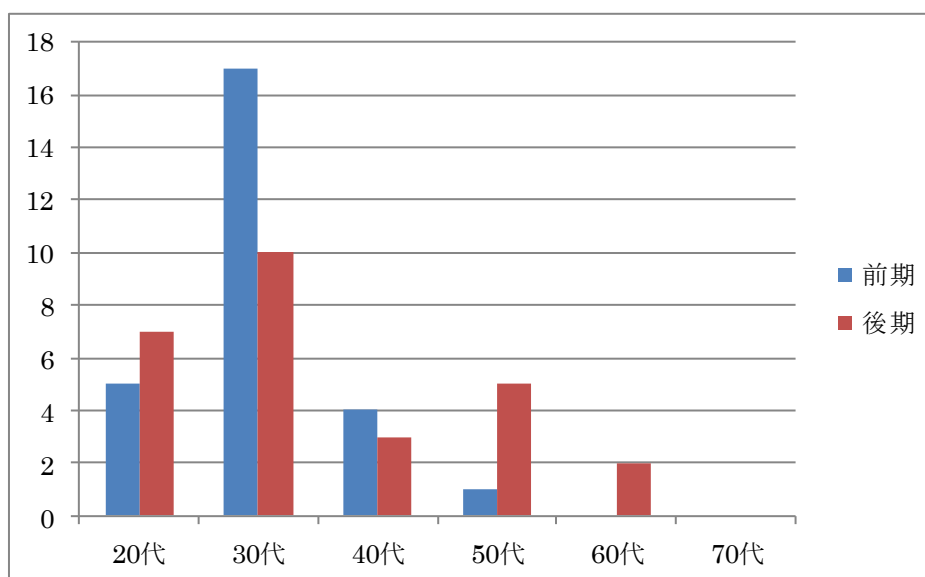
- ・マクロ経済学特殊問題
- ・会計史法特殊問題
- ・法人税法特殊問題
- ・会社法特殊問題

【後期開講科目】

- ・租税法実務特殊問題
- ・産業経済地理学特殊問題
- ・企業会計論特殊問題
- ・現代中国経済特殊問題

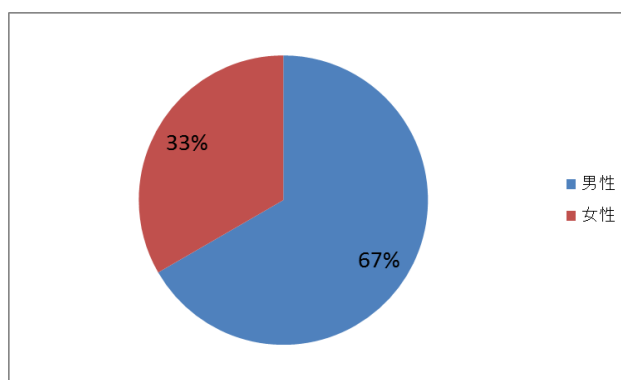
※アンケート回答数 58 (内訳：科目等履修生 16 大学院生 38 未記入 4 回収率 93%)

(1) 受講生の年齢（大学院生・科目等履修生アンケート回答者）（n=27）

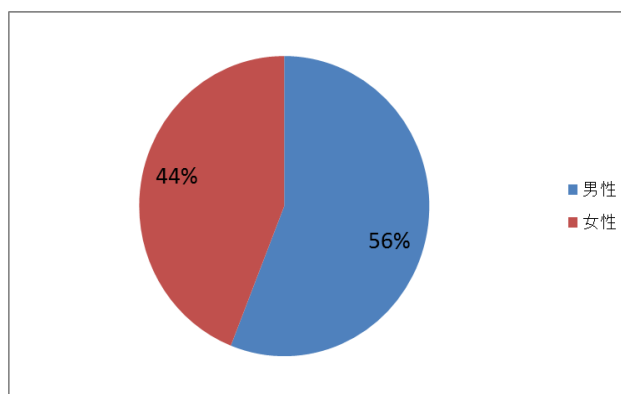


(2) 受講生の男女比（大学院生・科目等履修生全員）

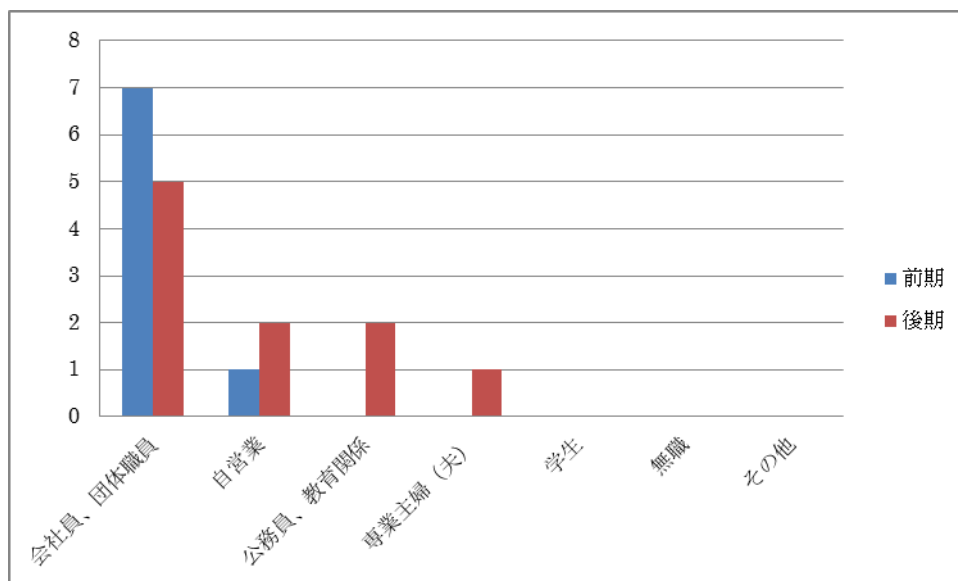
前期（n=27）



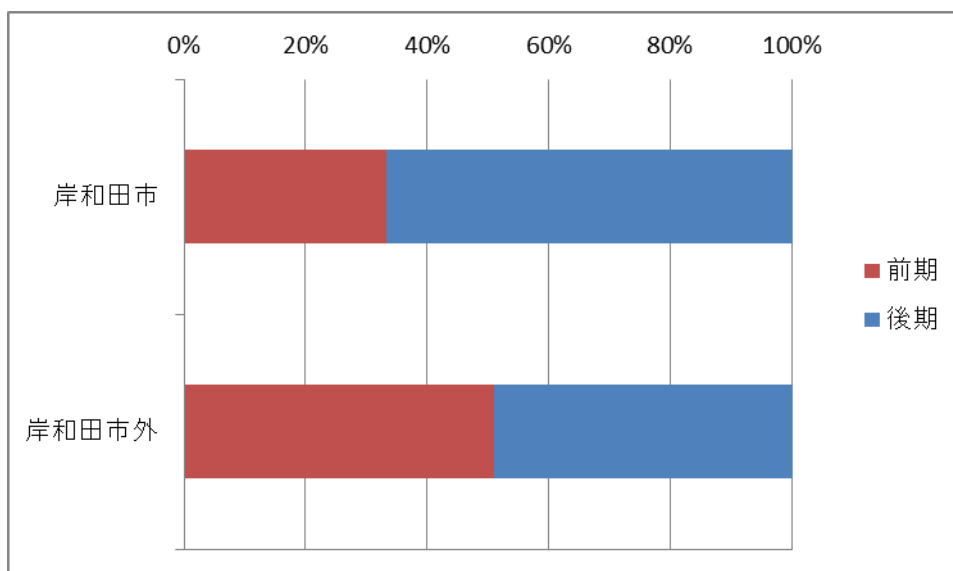
後期（n=27）



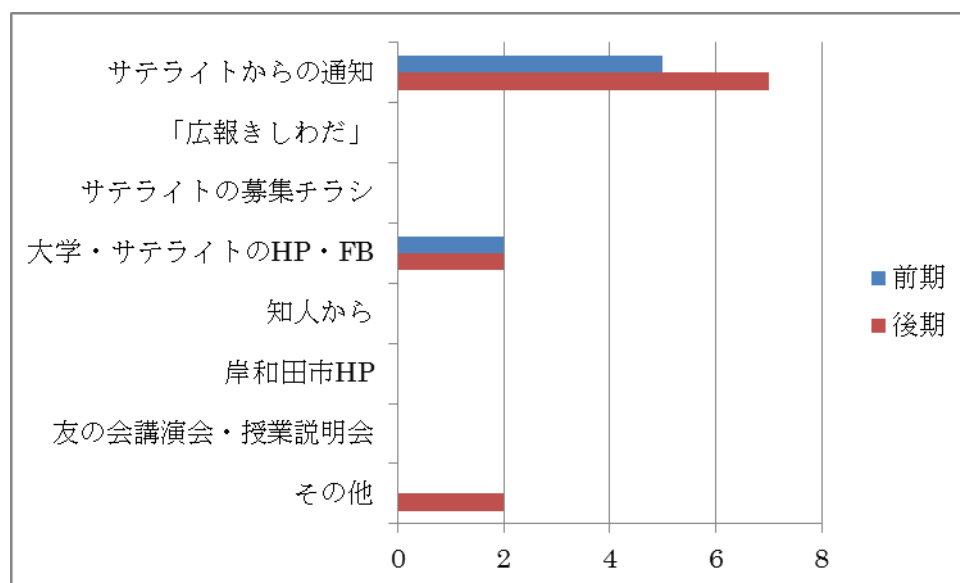
(3) 受講生の職種 (科目等履修生アンケート回答者) (n=7)



(4) 受講生の居住地 (大学院生・科目等履修生全員) (n=X)



(5) 当該大学院授業の開講を知った手段（科目等履修生アンケート回答者）（n=18）



(6) 授業についての自由記述（一部）

マクロ経済学特殊問題

- ・毎講義 荒井教授の講義を楽しみにしておりました。色々な質問に対して豊富な知識と経験で、ご返答頂き、大変勉強になりました。
- ・いろいろ勉強になりました。知識だけでなく、コンピューターも利用して、それは実用とつながって、とても良かったです。コンピューターの利用についてもっと練習したかったです。それもできたら、もっといいと思います。
- ・マクロ経済学に関して、いろいろな話題があります。先生の準備はとっても詳しくて、授業の雰囲気も良いです。いろいろな知識を得ることができ、勉強になりました。ありがとうございました！
- ・統計の原データにあたり、経済の実体を読みとくというテクニックを学べて、大変勉強になりました。また、留学生の方もおり、他国経済の実際も知ることができ、興味深く受講できました。

会計史特殊問題

- ・会計の歴史について、今まで触れる機会が無かったので、興味深く、ためになる授業でした。
- ・簿記の歴史を年代別・地域別に考察する事は現代行われている簿記につながるものがほとんどであり、驚いた。現在の知識がさらに深まりました。
- ・現代にある問題を過去の事実からどのように叙述していくのかという技術を学べたように感じます。論文テーマの問題解決でなやんでいる方は受講がいいかもしれません。
- ・会計の歴史について、理解を深める事が出来ました。時代の流れや要請によって、会計が生成

され、成長していく課程がとても興味深く、良かったです。

- ・自分の全く知らない分野である「会計史」についての通史について学ぶことができました。会計・簿記の専門的なことはよく分からなかったですが、複式簿記が20cの大企業の発展に大きく貢献したことが分かりました。そこには近代の会計簿記の歴史の発展があり、社会・産業の発展に伴って応用時代に合せて発展があったことが分かりました。6回の授業に、内容については、なかなか追いついていけませんでしたでしたが、楽しく参加できました。
- ・各章、それぞれ特徴があって盛りだくさんで、複式簿記が誕生し、発展していく過程を興味深く学ばせて頂きました。第7章では、東インド会社の議事録のスライドを見せて頂き、歴史的に価値のあるもので感動しました。簿記の計算については勉強したことがありますが、簿記や会計の歴史は学んだことがなかったので、是非授業を受けてみたいと思い、参加できて、良かったです。ありがとうございました。

法人税法特殊問題

- ・判例研究のやり方も全然わからない中で、細かな点から教えて頂いて、とても勉強になりました。
- ・租税法が行政法の一分野という事を正しく理解できました。司法制度についても理解できました。
- ・論文の書き方のベースとなるものを教えていただけたので、勉強になりました。
- ・法人税特殊問題の講義を通じて、教授に判断の読み方、資料の集め方、文章の書き方など基本的な事項を丁寧に教えて頂きました。仕事にも通じる事柄もたくさんあり、大変有意義な受講となりました。

会社法特殊問題

- ・毎回、授業が楽しく、課題についての疑問点など尋ねてみたいことが色々出て来て、興味深かったです。もっと授業を受けていたかったです、今日で授業が終わるのが残念です。
- ・会社法の判例をはじめて触れる機会となり、とても参考になりました。今後の実務でも、条文や判例を参考に仕事をすすめたいと思います。
- ・会社法の知識が乏しいため、皆様にご迷惑をお掛けしてしまいました。会社法の判例は、新鮮で興味深かったです。
- ・最終回の報告用のレポートをつくるのはとても辛かったです、やっけて良かったです。論文を書くために何をすべきなのか全くわからない状態でしたが、ほんの少しだけやるべきことがわかった気がします。自分の考え、疑問点を言葉で伝えることの難しさを学びました。
- ・実務で会社法の考え方が必要だったので勉強になりました。ありがとうございます。
- ・会社法を学ぶ機会が少なかったので、受講できて大変有意義でした。また、論文の発表機会も設けていただき、大変ありがたかったです。
- ・論文の書き方や考察へのアプローチまで、授業の内容を超えて議論及び教授いただき、ありがとうございました。

租税法実務特殊問題

- ・税理士先生の考え方、意見を聞けてとても為になる授業でした。
- ・税理士の先生の実務の話を生で聞けて、たいへん勉強になりました。
- ・実務家の先生のお話は大変参考になりました。今後の仕事・勉強に役立てたいと思います。
- ・仕事で会社の中でしか税理士の方とお話する機会がないので、授業を通して様々な税理士の方とお話できて、勉強になりました。

産業経済地理学特殊問題

- ・自由に討論させてもらったので和気あいあいとした雰囲気の中、楽しく受講させて頂きました。ありがとうございました。
- ・学生が自由なテーマで発言出来るのが良かった。社会人が中心の教室であったので、各人の人生経験に基づく内容で、相互の理解を深め、良い勉強の機会を得ることが出来た。
- ・日本、アメリカにおける地域格差と経済発展との関係について良く理解できた。先生の解説がとても分かり易かった。

企業会計論特殊問題

- ・暗記すべき点を指摘するだけでなく、きちんとどうしてそうなるのかまで説明してくださり、とてもわかりやすかったです。
- ・簿記、財務諸表論の理論を深く学ぶことができました。来年度もこの講義があれば是非受講したいと思います。
- ・今後も岸和田にて授業を行って頂けることを希望します。
- ・来年もまた開講して頂きたいです。ありがとうございました。
- ・幅広く、たくさん論点を教えて頂けるので、会計を体系的に学習することができました。また授業の中で前回の復習等もできたので良かったです。来年も受講したいと思います。
- ・自分自身の知識の整理とアップデートに必要に役立ちました。多くの時間簿記の学習をしてきましたが、今までで一番わかりやすかったです。また来年も受講したいと思います。
- ・お世話になりました。ありがとうございます。
- ・理論を詳しく教えて頂けるので、とても勉強になります。今期は法人税法の規定も教えて頂け、大変興味深かった。来年も続きの範囲を開講して頂きたいです。ありがとうございました。
- ・去年に引き続き受講しました。簿記については、今後税理士試験を受験する上でも必須となり、大変勉強になりました。

現代中国経済特殊問題

- ・教科書の内容を読んでいくというカリキュラムでしたが、教科書に書いていない事や、実体験など、たくさん貴重な話を聞く事が出来て、幅広い知識を得る事が出来ました。
- ・よく勉強しました。
- ・和太周辺に住んでいる和太生にとって、通学はやや不便と思う。
- ・中国経済の中身について学究的に理解をしていく手段が少ないので、今回の講義は経済以外の国内事情も含めて学ぶ良い機会となった。社会人として当然持つておかなければならない見識を身に付ける場として、今後も岸和田サテライトのカリキュラムに期待したい。学部開放授業との日程調整を希望します。
- ・わかり易くかみ砕いて、ことわざ等裏話も変え語って頂いたので長時間にもかかわらず退屈することなく興味深く拝聴でき、中国経済への理解も深められました。ありがとうございました。

B 岸和田市附属機関委員等の就任状況（2018年度）

附属機関名	教員名	所属
子ども・子育て会議	米澤好史	教育学部教授
岸和田市児童福祉審議会	米澤好史	教育学部教授
建築審査会	藤田和史	経済学部准教授
産業活性化推進委員会	藤田和史	経済学部准教授
総合計画審議会	藤田和史	経済学部准教授
都市計画審議会	宮川智子	システム工学部教授
景観審議会	堀田祐三子	観光学部教授
開発審査会	堀田祐三子	観光学部教授
岸和田市環境審議会	江種伸之	システム工学部教授
岸和田市環境審議会	吉田登	システム工学部教授
岸和田市環境審議会	原祐二	システム工学部准教授
岸和田市産業廃棄物減量等推進審議会	吉田登	システム工学部教授
岸和田市競輪場施設整備検討委員会	伊藤央二	観光学部講師

C 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会名簿（2018年度）

和歌山大学		岸和田市	
学長	瀧 寛 和	市長	永 野 耕 平
理事（地域連携、企画、評価担当）	遠 藤 史	副市長	小 山 藤 夫
理事（教育、学生、入試担当）	石 塚 互	副市長	土 佐 邦 之
理事（研究・国際担当）	呉 海 元	教育長	樋 口 利 彦
理事（総務・財務・施設担当）	山 口 良 文	魅力創造部長	大 西 吉之助
副学長・生涯学習部門長	足 立 基 浩	学校教育部長	谷 桂 輔
COC+推進室長	金 子 泰 純	生涯学習部長	濱 上 剛 志
岸和田サテライト代表	藤 田 和 史	企画調整部長	藤 浪 秀 樹
研究・社会連携課長	千 葉 清 行	企画調整部企画課長	上 東 東
学務課長	堀 内 伸 也		

D 和歌山大学・岸和田市地域連携推進協議会企画運営委員会名簿（2018年度）

和歌山大学		
副学長・生涯学習部門長	足 立 基 浩	代表委員
岸和田サテライト代表（経済学部准教授）	藤 田 和 史	代表委員
研究・社会連携課長	千 葉 清 行	
研究・社会連携課副課長	高 橋 正 美	
学務課長	堀 内 伸 也	
学務課生涯学習係長	森 本 充 昭	
岸和田サテライト地域連携コーディネーター	大 坪 史 人	
岸和田市		
企画調整部企画課長	上 東 東	代表委員
企画調整部企画課職員	蓮 井 睦 美	
企画調整部企画課職員	井 元 智 美	
企画調整部企画課職員	前 田 千 華	

E 連携ひろばワダイ×キシワダ 会員名簿（2018年度）

	団 体 名
会員	いずみの農業協同組合
会員	岸和田商工会議所
会員	大阪鉄工金属団地協同組合
会員	岸和田市観光振興協会
会員	岸和田市立浪切ホール
会員	特定非営利活動法人ラヂオキシワダ
会員	和歌山大学岸和田サテライト友の会

F 和歌山大学岸和田サテライト教職員名簿（2018年度）

職 名	所 属	氏 名
サテライト代表	経済学部准教授	藤 田 和 史
地域連携コーディネーター	学務課	大 坪 史 人
事務補佐員	学務課	梅 田 由 美

2018年度 事業告知チラシ

岸和田サテライト社会人受講生募集 平成30年度前期 和歌山大学

大人の教養を身につけたい
地域のことをもっと知りたいたい

詳しくは募集要項をご覧ください！

学部開放授業受講者募集科目 (教養科目)

色彩計画論

日常生活に欠かせない色彩デザインについて、人間心理/色彩科学/配色計画/空間色彩/デジタルメディアによる色彩といった色彩計画の基礎を網羅的に解説します。人が感じる色、快適に感じる配色デザインの知識を得ることで、都市景観や広告物のより方を審美的な視点で観察/評価し、多角的な視点からまぶくりや景観問題に取り組みのヒントを探ります。前半は、色彩により受ける心理的影響や効果、優れた配色を行うための色彩調和と色彩表現について学び、色彩デザインの基礎知識を理解します。後半からは、実践としてプロダクト設計、インテリア、服飾・都市計画の分野で行われる色彩計画やカラータンニングの技法を解説します。

【担当】 川内 典弘 (和歌山大学 システム工学部)
【日時】 5月12日・19日・26日、6月2日・9日・16日・30日
いずれも土曜日: 13:00~16:10
6月16日のみ 13:00~17:50
6月16日は、フィールドワークを予定しています。
(近郊ホテルの周辺でスマホアプリを使った色彩調査)

※「色彩計画論」を履修される方のうち希望者は、下記の科目(一部)を併修/履修することが出来ます。履修希望の場合は、申込の欄に併修/履修の旨を記載してください。
詳しくは募集要項をご覧ください。

「文化資源と地域再生」 (定員20名・抽選)

関西には、多くの文化資源が残っています。古くは城や城下の遺跡群は言うまでもなく、各地に伝わる伝承を記した碑や、寺社もそうだろう。歌謡や物語などは先住民の文化の文脈に残されたこともまた「文化資源」と考えられるだろう。これら「文化資源」は、決して、その地域を再生するための前に活かすべく、あるいは、その地域に活かすべく、その地域に、どのような交流が生まれるべきだろうか、以上のような視点から、さまざまな文化資源を取り上げ、その内実を知るとともに、その有効性について考えます。

【担当】 西田 正史・田中 智博・前川 康行 (大阪府立大学)
野川 寛二・大橋 直典 (和歌山大学)
【日時】 8月8日(水): 13:00~16:10 / 8月9日(木): 9:30~16:10
8月8日(金): 9:30~16:10 ※こちらは開講可能な日程です。

和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立浪切ホール2F
和歌山サテライト 検索
電話・Fax: 072-433-0875

社会人受講生募集 (前期)

岸和田サテライト社会人受講生募集 平成30年度後期 和歌山大学

大人の教養を身につけたい
スポーツのことをもっと知りたいたい

和大学生と一緒に学びます！
試験はありません！

「スポーツ老年学」

ヘルススポーツ(健康の維持と改善)、レジャースポーツ(余暇充足・楽しみの追求)、マスターズスポーツ(技を磨き続けることを楽しむ)を紹介し、それぞれ目的・楽しみ方からスポーツが持つ役割を論じ、スポーツの持つ可能性と価値を捉えながら、成人・中高年期のスポーツプロモーションについて考え、議論します。

【日時】 10月6日、20日、11月11日(日) フィールドワーク、11月17日、12月15日、22日 (土曜: 13時~17時、日曜: 10月20日、11月17日は、14時から18時まで)

☆ 裏面もご覧ください！

アプリケーションの開発方法を学んでみたい

和歌山大学

「GISを利用したオープンデータアプリ開発」

オープンデータとは、さまざまなデータを利用可能な形式で公開する活動です。現在、まちづくりなどの地域活動を効率的にするものとして、全国の自治体や公益活動団体を中心に広く取り込まれています。しかし、公開されているさまざまなオープンデータをうまく活用するには、データ処理に関する専門知識が必要です。この科目では、GIS(地理情報システム)を利用した地域データの分析方法や、アプリケーションの開発方法を学びます。

【日時】 10月13日、20日、27日、11月10日、17日、24日、12月1日、8日 (土曜: 9時半~12時半)

☆ 詳しくは募集要項をご覧ください！

和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立浪切ホール2F
和歌山サテライト 検索
電話・Fax: 072-433-0875

社会人受講生募集 (後期)

WA 第101回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

地域を舞台とした 短編映画のこれから

話題提供者 木川 剛志 (観光学部 准教授)

映画は映画館で上映される話題だけではなく、地域在住の映画監督たちが自分たちの地域の魅力を描いた自主制作短編映画が、毎日どこかの地方で生まれています。これらの映画のほとんどは映画館でも上映されませんが、ネットで見ることもできません。地域イベントや企画で開催される自主制作映画の映画祭で上映されるだけです。確かにそれらの中には低予算ゆえにクオリティが劣るものもありますが、それでも地域から発信される映画として可能性があります。

本講義では、このような地域を舞台とした短編映画、それらが上映される映画祭について紹介したいと思います。

参加無料 申込不要

日時 2018年4月18日(水) 19:00~20:30
場所 岸和田市立浪切ホール4階交流ホール
問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax: 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

南海本線/岸和田駅下車 徒歩約10分 駐車場有 (無料)

第101回 わだい浪切サロン

WA DA 第102回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

後世に伝えたい流行り歌

話題提供者 米山 龍介 (観光学部 教授)

「歌は世に伝えたい世は歌につれ」と言いますが、流行り歌を聴くと時代背景や人生を思い出すことができます。

また、歌詞や曲の創り方をみると、まさに日本固有の文化と言えるものが沢山あります。

昭和の歌で次代に語り継ぎたい歌と一緒に聴いて分析し、歌いましょう！

参加無料 申込不要

日時 2018年5月16日(水) 19:00~20:30
場所 岸和田市立浪切ホール4階特別会議室
問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax: 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp

南海本線/岸和田駅下車 徒歩約10分 駐車場有 (無料)

第102回 わだい浪切サロン

わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwith 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず自身も研究テーマやそのトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwith 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず自身も研究テーマやそのトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

WA DA I

第103回 わだいな浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

「川」って足りてる？ 一地域の自然資源を楽しみながら使う技一

話題提供者 田代 優秋 (COC+推進室 特任助教)

川を楽しむ一番の暮らしの中で「川」を思う機会なんてないかもしれません。まちづくり、防災対策、環境安全が難しそうな場所ではないはず。もっともっと楽しめる川の使い方があっていい。日本全国にはなぞなぞみたいな「川の中にプール」を造った地域があります。他にも面白くて、楽しくて、あっと驚く川の使い方があります。明治から昭和にあった面白い使い方も含めて紹介しながら、明日からのあなたの「川」の使い方が広がる時間にしたと思います。

**参加無料
申込不要**

日時 2018年6月20日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月に8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwai!和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまと身近な研究テーマや年のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第103回 わだいな浪切サロン

WA DA I NA

第104回 わだいな浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

発達障害のある人と関わる中で ～大学生の支援を中心に～

話題提供者 森 麻友子 (障がい学生支援部門 講師)

平成28年に差別解消法が施行されました。それに伴い、高等教育機関、特に国立大学法人では、障害学生支援に関して、大きな転換期を迎えています。私は、本学の保健センターで7年ほど学生のカウンセリング業務に従事し、3年ほど前からキャンパスライフサポートルームで障害学生支援に携わっています。そこで今回は、本学の発達障害学生の支援の実践をご紹介しますと共に、発達障害をもつ人がどのような困難を抱えているのか、また、どのように関わっていくのか、臨床心理士の立場から発達障害のある人と関わることで日々感じる事についてお話をしてみたいと思います。

**参加無料
申込不要**

日時 2018年7月18日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月に8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwai!和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまと身近な研究テーマや年のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第104回 わだいな浪切サロン

WA DA I NA MI

第105回 わだいな浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

食がっなぐ新たな縁

話題提供者 稲田 淳子 (食農総合研究所 特任助教)

現在、「食べ物」や「食べること」を通じて、これまでの身近な家族、友達、知り合い...等とは少し異なるつながりが新しく生まれて来ています。

例えば農山村や漁村等での滞在型旅行ともいわれる「グリーンツーリズム」では、その地域ならではの、食や田舎の体験、人々との交流を楽しみに訪れる都市住民や外国人旅行者が増加しつつあります。一方、都市部においても、地域の病院やJA、個人等が主体となり、児童を対象とした食育などの取り組みも始められており、いずれも「食」を介したつながりが強かれています。

今回はこれらの取り組みを紹介し、農業や農村、また都市部における食を通じた取り組みの可能性について考えてみたいと思います。

**参加無料
申込不要**

日時 2018年9月19日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月に8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwai!和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまと身近な研究テーマや年のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第105回 わだいな浪切サロン

WA DA I NA MI KI

第106回 わだいな浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

おいしいものは好きですか？

話題提供者 大坪 史人 (岸和田サテライト 地域連携コーディネーター)

私は、美味しいものが大好きです(嫌いな人もいないと思いますが)。では、みなさん食べ物がどうやって、手元に届くのか考えたことはありますか？ 農家(漁師)さんがつとめて(獲って)...なかなか考えたこともないかもしれません。産店街の八百屋さんや魚屋さん、スーパーマーケット、農水産物販売所など生鮮品が売られているお店だけでもいっぱいあります。輸入や加工品なども含めたら、売られているところは、数えられません。

こういったお店でみなさんが食べ物を購入するまでについて考えていきます。また、私の研究で携わった地域とその特産品をみていきます。

**参加無料
申込不要**

日時 2018年10月17日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだいな浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月に8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwai!和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまと身近な研究テーマや年のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第106回 わだいな浪切サロン

WA DA I NA MI KI RI

第107回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

こどもの視力と眼の健康

～絵本とクイズで遊びながら視力検査～

話題提供者 高橋 ひとみ 氏
桃山学院大学 法学部 (健康教育学) 教授

こどもが「きちんと見えているか」、心配になったことはありませんか？
幼児期のこどもの視力検査は、難しいものです。こどもは自分から「見えていない」とは言わないので、早期の発見、治療を行わないと改善しにくくなります。きちんと見えていないと、その後の学習や運動にも影響が出てきます。

そこで、こどもの近視視力不良についての説明を行い、幼児向けのクイズと絵本を用いた視力検査も実施します。

参加無料
申込不要

日時 2018年 11月 21日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第107回 わだい浪切サロン

WA DA I NA MI KI RI SA

第108回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

運動で体脂肪を燃やすテクニック

話題提供者 豊岡 示朗 氏
(大阪体育大学 教育学部 教授)

身体に蓄積した体脂肪量は、生活・運動習慣、食生活、加齢などの影響により40歳代を過ぎると、個人差が大きくなります。体脂肪率が30%を越えてくるとメタボ・ロコモ症候群に陥んでいく例もみられます。その体脂肪を運動(ウォーキングやジョギングなど)で効果的に燃やすテクニック(強度・時間の長さ・運動時間帯など)を紹介します。

実践なくして、減量なし。運動できる身体を持つことが体脂肪を減らし、健康寿命をのばす鍵となります。

参加無料
申込不要

日時 2018年 12月 19日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第108回 わだい浪切サロン

WA DA I NA MI KI RI SA RO

第109回 わだい浪切サロン 和歌山大学・大阪府立大学連携特別講座

1回で採血お願いします!

～ベテラン看護師の暗黙知の可視化と教育支援～

話題提供者 真嶋 由貴恵 氏
(大阪府立大学 大学院 人間社会システム科学研究科 現代システム科学専攻 教授)

今回の講演では、看護職教育において必要な看護技術の習得を支援するためのICT教育についてお話しします。実は看護師の評価は、この技術の良し悪しで判断されることが多いのです。そのため、看護技術を習熟させる学習支援が求められています。特に注射は、身体に針を刺し薬液を注入するという「痛み」を伴うので、上手な人にもいらない技術の一つです。本講演では、この注射技術を取り上げ、看護師や看護学生の考える「コツ」とらえ方の違いや手順の間違いなどを分析し、自己学習で看護技術の習得ができるような学習支援システムについて紹介します。

参加無料
申込不要

日時 2019年 1月 16日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第109回 わだい浪切サロン

WA DA I NA MI KI RI SA RO N

第110回 わだい浪切サロン 和歌山大学・岸和田市地域連携事業

航空会社のサービス価値創造

話題提供者 阪口 葉子 氏
(大阪国際大学 客員教授)

客室乗務員やグランドスタッフは、安全第一を念頭に置き、短時間で最大限のおもてなしの心を表しています。突発事項の発生時には、機転を利かせ解決し、お客様に何度も並んで頂かない便利で安全な仕組み作りは日進月歩です。

世界の空港の搭乗口では、目の虹彩認証で搭乗でき、近年自走式のセルフチェックイン・ロボットがお客様に近づいてきて、お客様の並ぶ時間が軽減されています。おもてなしの心、仕組み作り、テクノロジーの活用がお客様の利便性向上となっています。航空会社が日夜どんなことに努力しているか、また航空業界の楽しい話にも触れていきます。

参加無料
申込不要

日時 2019年 3月 20日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F
Tel & Fax : 072-433-0875
[E-mail] kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催するwaini和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみならず身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

第110回 わだい浪切サロン

まちライブラリーブックフェスタ in関西2018

ウェブページアワードというイベントを知っていますか？
いまや辞書の代わりといってもいいウェブページ。
地域の情報をオープンデータとして公開し、地域の活性化
につなげていくイベントを岸和田市でも開催します。
自分たちで町の発展を見守り、盛り上げたいと考えて、
それを全世界に広げる活動なのです。

久米田を 編集する。

5月5-6日(土・日)

集合場所

5日：岸和田市立図書館

6日：久米田池遊歩道

(JR久米田駅より徒歩10分。)

定員 15名(定員になり次第受付終了)

持参 ノートパソコン

事前準備

ウェブページログインIDを取得してくる

申し込み先 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



まちライブラリーブックフェスタ in 関西 2018

和歌山大学岸和田サテライト友の会夏季講演会

1. 友の会活動報告 14:40~14:50

岸和田市長が25年ぶりの防災やみしほいと紙スリッパ
づくりなどのご報告とさらに、ブックフェスタ2018
(マッピング参加)での取り組みをご紹介します。

2018.8.4

場所 岸和田市立浪切ホール
4階研修室1

2. 講演 15:00~16:20

東大阪地域にみる中小企業による キャリア教育支援の実践と 地域社会づくり

～地域中小企業 × 大阪府立布施北高等学校のデュアルシステムの取り組みを事例として～

講師 木下 和紗さん

(1987年岸和田市生まれ・大阪市立大学大学院特任講師)

地域社会を取り巻く問題の少量化、深刻化を背景に、中小企業による地域社会づくりへの貢献に期待が高まっています。しかしこうした動向とは対照的に、中小企業の地域社会に果たす役割に関する学術研究は、とくに日本では理論的・実証的観点から十分には進んでいません。そこで、東大阪地域における中小企業と高校との協働によるデュアルシステムの取り組みを事例に、中小企業による地域社会づくりへの関与の実態、およびそうした関与がもたらす社会的意義を概観したいと思います。また、私自身がこうしたテーマを研究することになった経緯や、当該テーマを研究することのあもる意義や、意義についてもお伝えできればと思います。
* 学校での進学と企業家での職歴を振り返り、学びあわせ人材育成システム

3. 後期授業説明会 16:20~16:30

2018年後期に岸和田サテライトで開講する学際開放授業2科目

◆スポーツ老年学◆

◆GISを利用したオープンデータアプリ開発◆

について説明します。



* 参加無料・申込必要 *

7月28日(土)迄に、連絡先を明記の上、

下記の連絡先・メールアドレスよりお申込みください。



和歌山大学岸和田サテライト

Fax 072-433-0875 岸和田市浪切町1-1浪切ホール2F

e-mail:kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



岸和田サテライト友の会夏季講演会

主催：和歌山大学 岸和田サテライト
岸和田サテライト友の会

2018年 12月1日(土)

14:30~16:30

岸和田市立浪切ホール

4階 研修室1

ぼうさいカフェ in きしわだ



参加無料
申込必要

9月に岸和田を直撃した台風は泉州地域に大きな被害をもたらしました。

私たちは防災について学び、その情報を市民に発信する活動を行ってきました。今回、その大切さを改めて感じました。電気、水、食料の確保の大切さを感じませんか？太陽光発電をしている家でも、その電気が使えないことを初めて知った方もいたでしょう。保存食に助けられた方もいたでしょう。今度の台風でみなさんは様々な経験をしたと思います。

そこで、この台風での体験を持ち寄り、話し合ってみませんか？身近で体験したこと、対策の必要性を感じたこと、お茶を飲みながら楽しく語り合いたい。『ぼうさいカフェ』へのご参加をお待ちしております。



11月26日(月)迄に、連絡先を明記の上、下記までお申込みください。



和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市浪切町1-1浪切ホール2F

Fax 072-433-0875 岸和田サテライト

e-mail:kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



ぼうさいカフェ in きしわだ

平成31年度

和歌山大学 岸和田サテライト

友の会冬季講演会



2/16(土)

14:00~16:15

岸和田市立浪切ホール

4階 研修室1

「地域防災とまちづくり」

◆ 講演 釜石の奇跡 14:00~14:30

防災をテーマとした講談

旭堂 南舟氏

◆ ぼうさいカフェ 市民防災の取り組み報告 14:30~15:40

◆ 授業報告 15:40~16:00

平成31年度前期開講科目説明会 16:00~16:10

4月~8月に岸和田サテライトで開講する大学院・学部の授業について案内します。



* 参加無料・申込必要 *

2月12日(火)迄に、連絡先を明記の上、下記の連絡先・メールアドレスよりお申込みください。



申込先：和歌山大学 岸和田サテライト

Tel・Fax 072-433-0875

e-mail:kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



岸和田サテライト友の会冬季講演会

和歌山大学岸和田サテライト事業報告 2018

(平成 30 年度)

発行日 2019 年 4 月 1 日

発行 国立大学法人和歌山大学岸和田サテライト

〒596-0014 大阪府岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

TEL&FAX : 072 - 433 - 0875

<http://www.wakayama-u.ac.jp/ki shiwada/>